

CSR 報告書 2015

私たちの CSR 活動
Corporate Social Responsibility



Driving Sustainability for Our Future.
持続可能な社会を、ビジネスの力で。

はじめに

目次

はじめに P1~P8

1. ご挨拶
2. 私たちの価値提供領域
3. 私たちの事業に対する姿勢
4. 私たちのお客様満足への取り組み

CSRの 考え方 P9~P12

1. 企業行動のフレームワーク
2. リコーグループ CSR 憲章
3. CSR の対象分野と活動概要
4. サステナビリティ活動推進のローガン
5. 特集 社会課題に事業を通じて向き合う

誠実な 企業活動 P13~P18

- コンプライアンス
 1. リコーグループ行動規範
 2. 基本宣言
 3. コンプライアンス浸透活動
- リスクマネジメント
 1. リスクマネジメント
 2. 内部統制
- 情報セキュリティ
 1. リコーグループの目指す情報セキュリティ
 2. ISO/IEC27001 (ISMS) 認証取得
 3. 情報セキュリティの運用

環境との 調和 P19~P24

- 環境保全活動
 1. リコーグループ地球環境保全の考え方
 2. リコーグループ環境綱領
 3. ISO14001 認証取得
 4. 省エネ・温暖化防止活動
 5. 省資源化
 6. 製品・部品回収とリサイクル
- 生物多様性保全活動
 1. リコーグループ生物多様性方針
 2. 活動実績

人間尊重 P25~P30

- 社員を支える仕組み
 1. 働きやすい職場を目指して
 2. 社員のモチベーション向上のために
- ダイバーシティ推進とワークライフ・マネジメント
 1. 女性の活躍推進に向けてのコミットメント
 2. 女性社員の意識変革研修
 3. 障がい者雇用に向けて
 4. 全社員へのダイバーシティ推進活動の情報発信
 5. ワークライフ・マネジメント
- 人材開発
 1. 人材育成の基本方針
 2. 新入社員合同研修
 3. 組織開発研修

社会との 調和 P31~P36

- 社会貢献活動
 1. リコーグループ社会貢献基本方針
 2. 教育分野での貢献
 3. 全国に広がる社会貢献の輪
 4. リコー社会貢献クラブ・FreeWill
- 東日本大震災復興支援活動
 1. 継続的な東北復興支援
 2. 事業を通じた復興支援

ご紹介 P37~P42

1. ViCreA・CIS
2. リコージャパン主要事業所一覧

報告範囲

対象期間：2014年4月～2015年3月
(一部2015年4月以降の活動も掲載しています)

会社概要

- 創 立：1959年5月2日
 - 資 本 金：25億円
 - 代 表 者：代表取締役社長執行役員 CEO 佐藤 邦彦
 - 売 上 高：627,264百万円(2014年3月期)
 - 従業員数：19,810名(2015年4月1日現在)
 - 拠 点 数：369拠点(2015年4月1日現在)
 - 本 社 事 業 所：東京都港区芝 3-8-2 芝公園ファーストビル
 - 事業内容：さまざまな業種におけるお客様の経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションの提供
 - ・複合機(MFP)やプリンターなどの画像機器や消耗品およびICT関連商品の販売と関連ソリューションの提供
 - ・サポート&サービス(画像機器やICT関連商品の保守、ネットワーク構築・保守、ICT運用業務代行)
 - ・システムインテグレーションおよびソフトウェア設計・開発
- (公式 Web サイト <http://www.ricoh.co.jp/>)



- 認証取得
 - ISO9001 品質マネジメントシステム
 - ISO14001 環境マネジメントシステム
 - ISO/IEC20000 情報技術サービスマネジメントシステム
 - ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム
- 主な許認可
 - 特定建設業、一般建設業、電気通信事業者、一級建築士事務所、みなし登録電気事業者、古物商、特定労働者派遣事業、高度管理医療機器等販売・貸与業許可
- 主な資格保有状況
 - 情報処理技術者 約3,400名
 - (システム監査技術者、ITストラテジスト、プロジェクトマネージャ、ITサービスマネージャ、情報セキュリティスペシャリスト、応用情報技術者など)
 - ITコーディネータ 約180名、CompTIA 約4,500名、ITIL 約200名
 - 工事担任者 約5,900名、電気工事士 約460名
 - その他 中小企業診断士、社会保険労務士、PMP など

ご挨拶

リコーグループは、世界4極体制で、約200の国と地域で事業を展開しています。私たちリコー・ジャパンは日本極の販売統括会社として、リコーグループとお客様との接点を担い、リコー製品を中心とした商品・サービスの提供を通じて、お客様の経営課題の解決や企業価値の向上に貢献しています。社員一人ひとりが、販売、サービス、ソリューション、業務それぞれのプロフェッショナルとして高い専門性を発揮し、お客様の業種・業界の特性を深く理解してリコー・ジャパンならではの付加価値なソリューションを提供することで、お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出することを目指しています。

こうした事業活動の基礎となる普遍的な理念として、私たちリコーグループは「リコーウェイ」を掲げています。私たちの使命は、「世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、提供しつづけることで、人々の生活の質の向上と持続可能な社会づくりに積極的に貢献する」ことです。事業活動を通じた社会課題の解決にも積極的に取り組むほか、環境保全と利益創出を同時実現する「環境経営」に取り組み、その輪を広げていくことで、お客様や地域社会とともに持続的に成長・発展することを目指しています。

私たちの事業活動はお客様やお取引先様、地域社会の皆様から信頼をいただくことで初めて実現できるものであり、CSR活動はなくてはならない活動であると位置づけています。私たちはリコーグループCSR憲章の4つの重点分野を中心にさまざまなCSR活動に取り組んでいます。こうした活動は一部の地域や社員だけが実施しているのではなく、全国のさまざまな地域で、経営幹部をはじめとした社員一人ひとりが、日々の活動として実施しています。

本報告書の発行を通じて、私たちが実践してきたCSR活動をご紹介させていただき、ステークホルダーの皆様からご意見やアドバイスをいただくことで、さらなる活動の促進を図っていきたく思います。そして今後も、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、お客様、地域社会の皆様とともに進めてまいります。

Driving Sustainability for Our Future.

持続可能な社会を、ビジネスの力で。

リコー・ジャパン株式会社
代表取締役 社長執行役員 CEO
佐藤 邦彦

価値提供領域

「人々の生活の質の向上」と「持続可能な社会の実現」に積極的に貢献すること。
これが私たちの使命です。

安心・満足・感動を提供する企業を目指して



リコーグループは、日本、米州、欧州、アジア・パシフィック・中国の 4 極体制で、世界約 200 カ国で事業を展開しています。

日本極の販売統括会社であるリコー・ジャパンは、メーカーであるリコーや関連会社と連携し、お客様の経営課題の解決や企業価値向上にお役立ちできるソリューションをご提供しています。

私たちは新しい価値をお客様とともに創り上げ、お客様に安心・満足・感動していただける企業になることを目指しています。

リコー・ジャパンの社員は、一人ひとりがプロフェッショナル。 全社員がひとつとなって、お客様のために全力を尽くします。

お客様との対話を通じて本質的な課題を見出し、お客様と共有します。そして、自分たちの実践事例やお客様とともに取り組んだ改善・改革事例を通じて得たさまざまなノウハウとともに、お客様の課題を解決するソリューションを提案します。



高い技術力と専門性を持つ全国約 4,400 名の技術者によるオンサイト保守と、7 つのセンターによる安心のサポート体制を整備。画像機器などのハードウェア保守はもちろん、ネットワークやシステムの運用保守までをワンストップで提供します。

お客様へのワンストップ体制の一翼を担い、常にお客様の立場を考えながら、高品質でスピーディな業務を遂行します。業務のエキスパートとして、お客様との約束を守り、日々の業務を通じて信頼関係の基盤づくりを行っています。

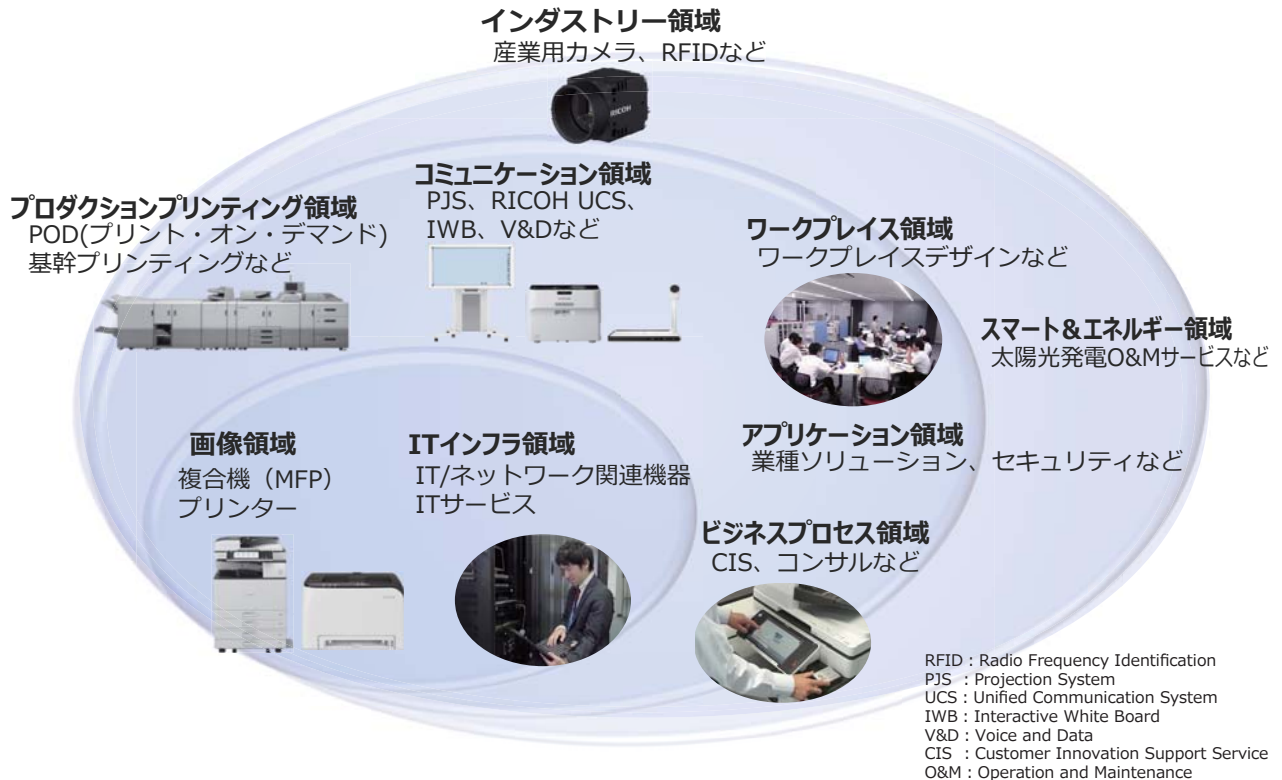


業界トップレベルの SE※集団が、お客様個々のご要望に合わせたシステムインテグレーションを提供します。最適なソリューションの提供により、お客様の業務プロセスの効率化や、ワークスタイルの変革を支援します。

※SE：システムエンジニア

価値提供領域の拡大

私たちは、さまざまな業種、業界の特性を理解し、お客様の環境やニーズの変化を捉え、お客様ごとに適したソリューションを提供しています。充実した販売・サービス体制のもと、強みである画像領域や IT インフラ領域をベースに、コミュニケーションやアプリケーション領域まで価値提供領域を広げ、お客様の経営課題や業務課題の解決に役立つ商品・サービスをワンストップで提供しています。



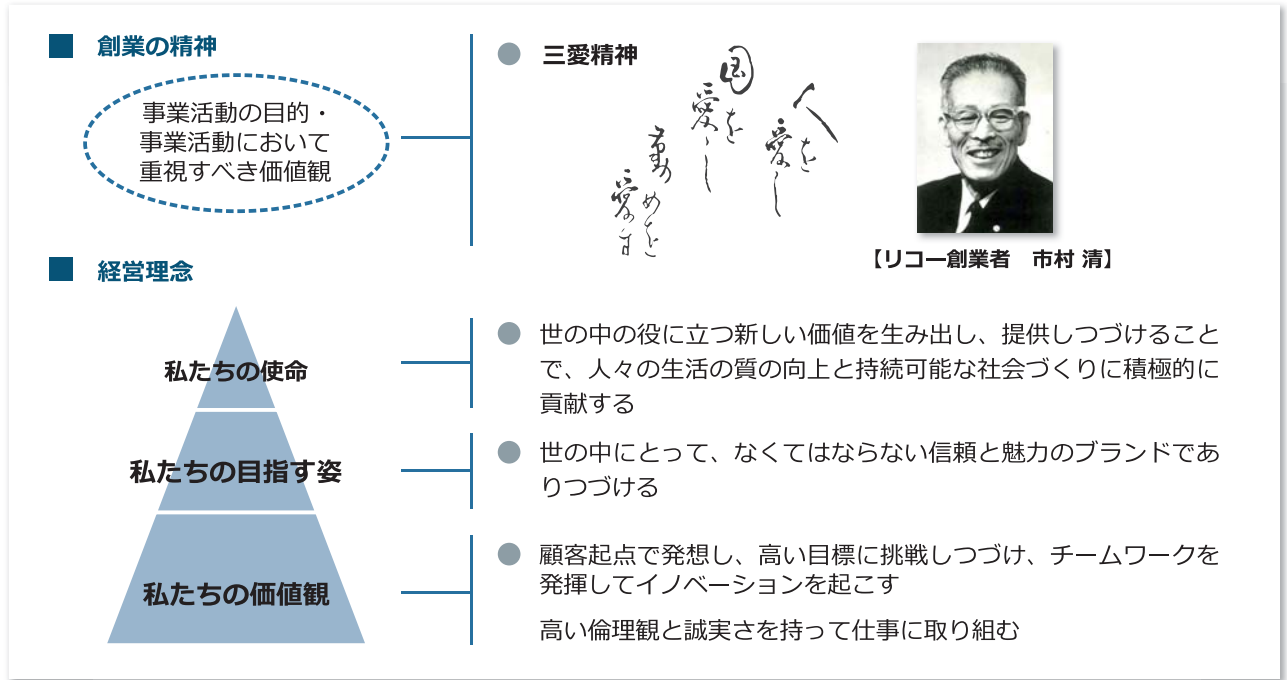
私たちの価値提供領域はオフィスだけではなく、店舗や工場、診察室、教室など、オフィス以外のお客様の“現場”にまで価値提供領域を拡大しています。また、スマート社会の実現に貢献するサービスの提供や安心・安全を実現する街づくりの支援など、人々の生活の質の向上と持続可能な社会の実現に積極的に貢献しています。



すべての事業活動は、リコーウェイに基づいています。

リコーウェイ

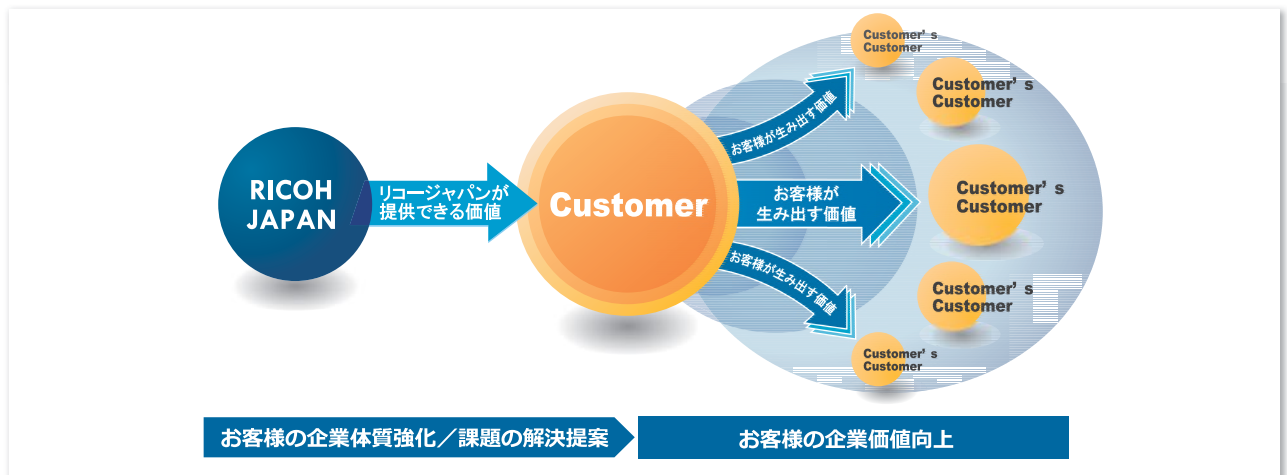
リコーウェイとは、リコーグループの事業活動の基礎となる普遍的な理念で、創業の精神である三愛精神と経営理念のことです。



ビジネスコンセプト

Customer' s Customer Success ～ お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出する ～

今までの価値提供は、どちらかと言えば、お客様の業務の改善・改革の提案にとどまっていますが、お客様の関心事は、自社の「企業価値向上」へと変わり、業績発展、顧客拡大という経営課題の解決につながる提案が求められるようになってきています。私たちは、多様化、高度化、グローバル化と激変する市場環境の中、お客様のその先のお客様から期待されていることに応えるために、お客様の経営課題をともに解決し、そして、新しい価値をともに創り出すことのできるパートナーを目指しています。



RICOH Quality

RICOH Quality 宣言

「いつまでも安心・満足、使い続けて感動」

リコーグループは、いつの時代もお客様に信頼され、魅力ある企業グループであり続けたいと考えています。そのために、リコーグループは全ての製品・サービスの提供と価値共創のプロセスを通じて、お客様に、いつまでも安心・満足を感じていただくと共に、使い続けて感動していただく Quality を追求していきます。

リコーグループは、これまで以上にお客様に安心してご利用いただける製品・サービスを提供すると共に、お客様が期待されている以上の価値を感じていただくことが重要であると考え、RICOH Quality 宣言を発信いたしました。この思いの達成に向けて、リコーグループで働く全ての人々が共通の志のもとに、活動を展開していきます。

RICOH Quality 向上への取り組み

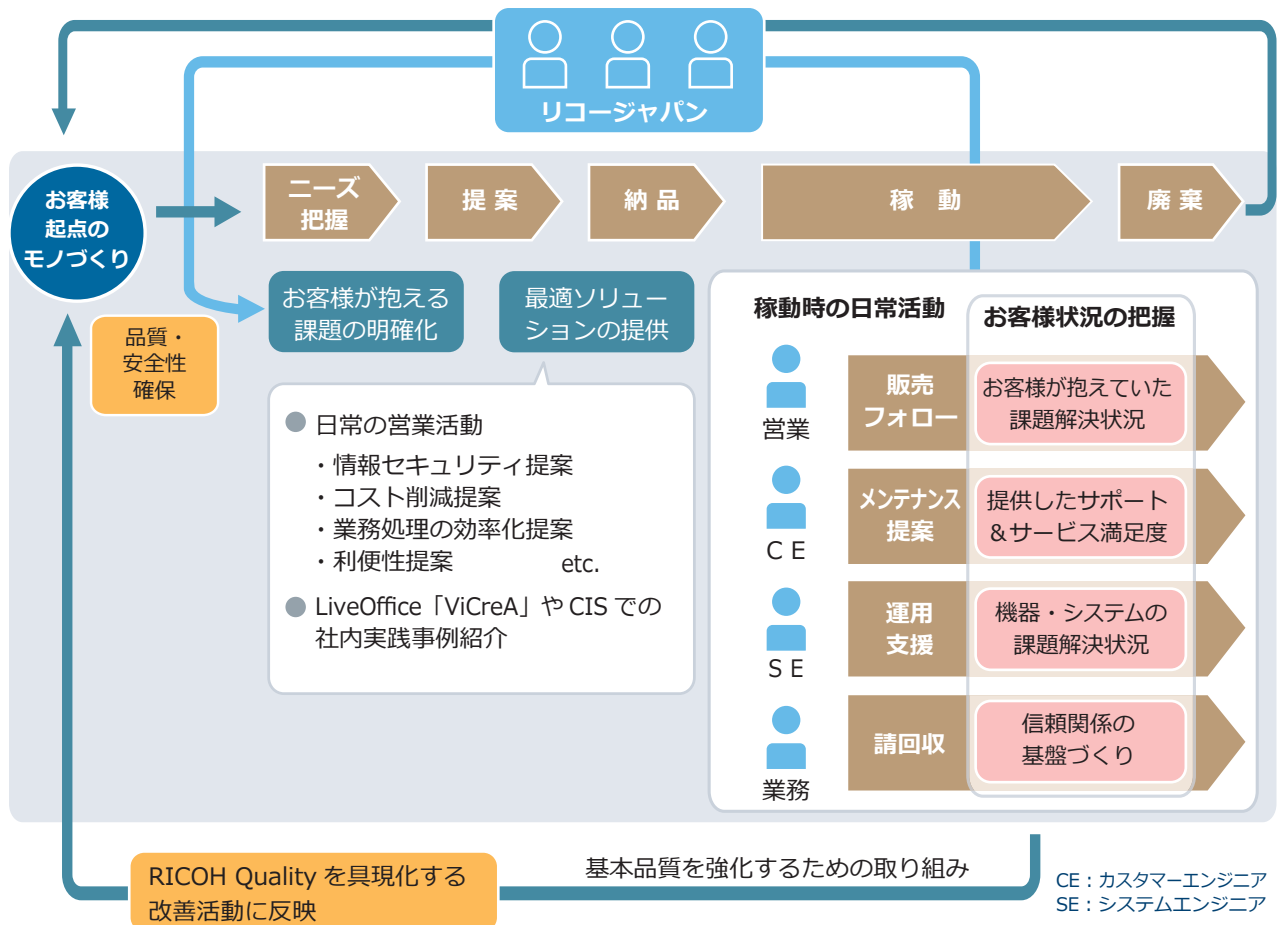
● 基本品質を強化するための取り組み

- ①法規制遵守の徹底と、社内独自基準による「製品責任（安心・安全）」の追求継続
- ②多面的な「市場品質情報管理」、さらにグローバルでの品質情報管理の強化と、お客様の課題解決を行うソリューション品質保証プロセスの強化

● お客様感動を創出する取り組み

お客様の声を聞き、より深く理解して有用な価値を製品・サービスに織り込む活動

RICOH Quality を実現する価値提供プロセス



お客様満足への取り組み

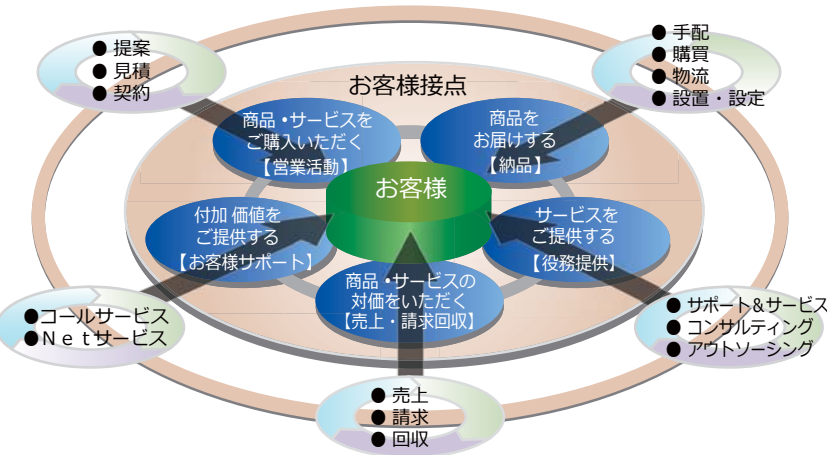
提供する商品・ソリューション、そして販売、サポート&サービスまで、一貫してお客様起点で取り組んでいます。

お客様満足（CS）向上の考え方

私たちとお客様との関係は、お客様が何に困り、何をしたいと思っているのか、私たちに何を期待して下さっているのか、お客様の声に耳を傾け、しっかりと理解することから始まります。そして、お客様の立場になって考え、気づき、真の課題を捉え、それを解決していくことで、お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出していきたいと考えています。

私たちはお客様に対して、商品やサービスをご提供するだけでなく、継続的なサポートや改善提案により「いつまでも安心・満足、使い続けて感動」を実感していただくことを目指しています。

「リコーを選んでよかった」とすべてのお客様に感じていただけるように、社員一人ひとりがお客様のことを常に考え、行動します。営業担当や保守サービス担当、コールセンターのオペレーターなど、お客様との接点を担うものだけでなく、スタッフに至るまで、全社員でお客様に向かい、その力を結集することで、私たちはこれからもお客様の課題解決に貢献していきます。



お客様への価値の提供

さまざまなチャネルと地域密着型のワンストップ対応

ViCreA

私たちのワークスタイル変革へのチャレンジをお客様にご体感いただく「LiveOffice」が「ViCreA」です。



ペーパーレス会議

CIS

リコーグループのノウハウをもとに、お客様の経営課題とともに解決するサービスです。セミナーや工場見学により、実践事例をご紹介します。



セミナー風景



工場見学

全国ネットの営業拠点

最適なソリューションを迅速に提供いたします。

全国
368
営業所



Value Presentation

リコーグループが取り組んだ社内実践ノウハウや、お客様とともに実現した数多くの課題解決事例を、セミナーや展示でご紹介しています。



展示会

NetRICOH

総合インターネットサービスです。「お客様専用ページ」と「担当営業」のダブルサポートで、リコーにしかできない細やかな One to One サービスを提供しています。

オンラインショッピング

OA消耗品などのオフィス用品を豊富な品ぞろえと低価格でご提供

R・サービスプラス

リコー機器をさらに快適に使えるオンラインのサポート&サービス

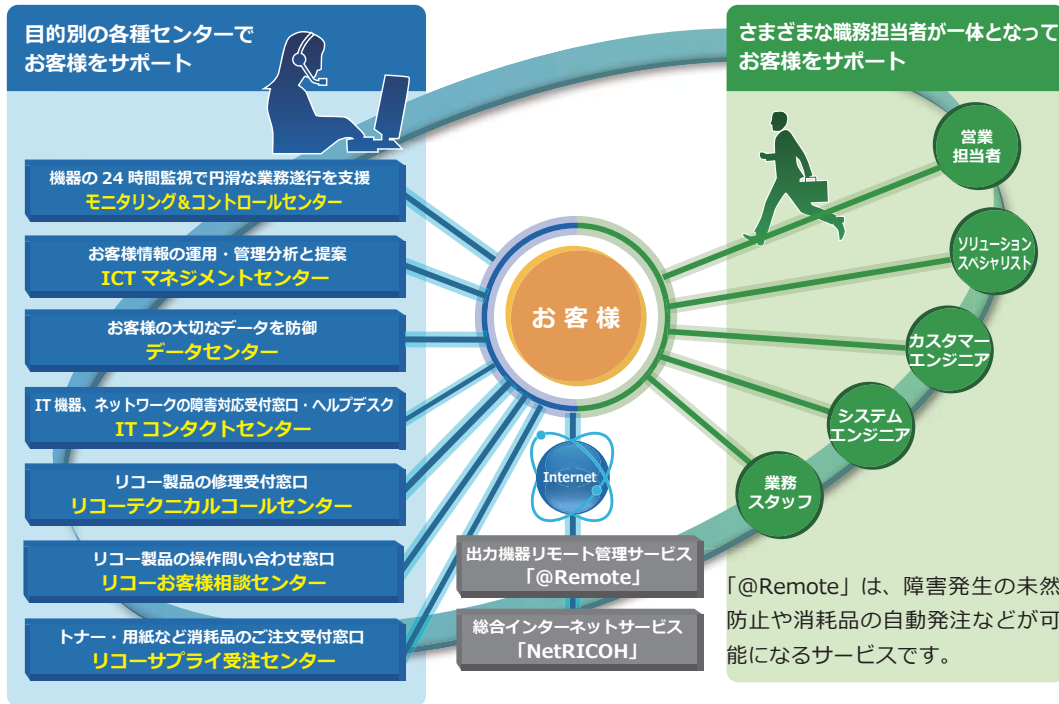
ビジネス支援サービス

インターネットを活用して経営や業務の効率化をサポート

導入後のサポート&サービス

導入後の安心・満足をお約束

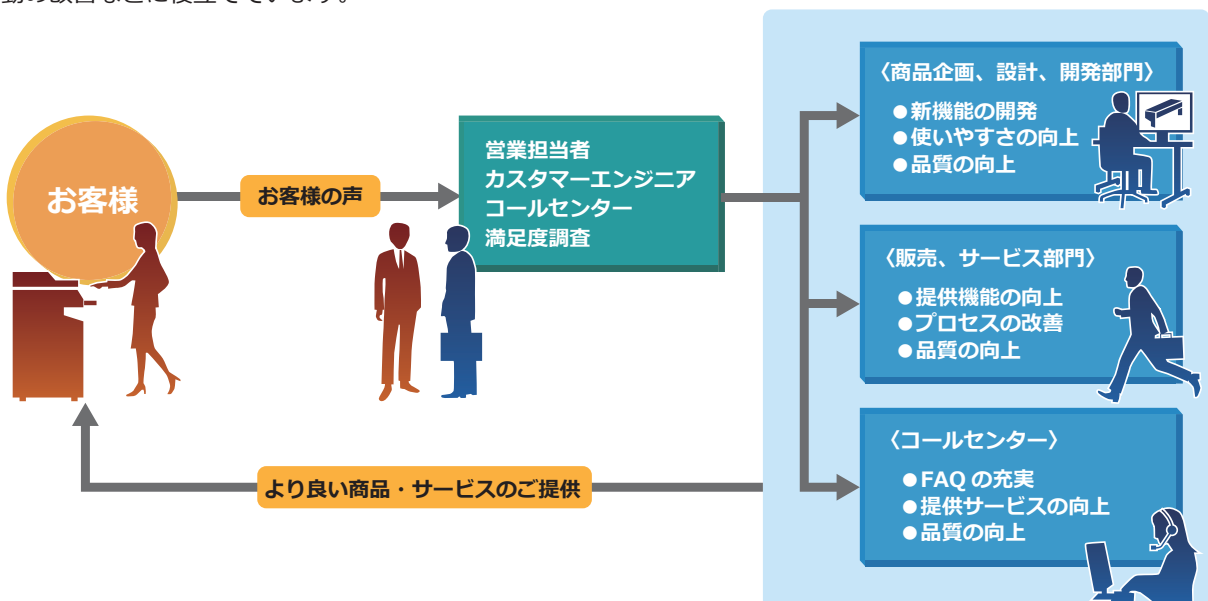
お客様のアクセス情報は、各コールセンターで組織的に共有され、お客様の要件に応じ、スピーディな対応を実施いたします。お客様の本来業務を止めることなく、機器の快適な使用をお約束いたします。



お客様起点の改善

商品・販売・サービスへ反映

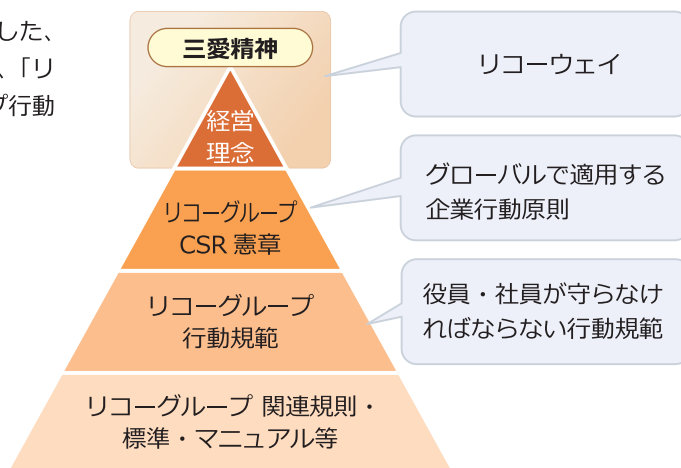
お客様からのお問い合わせ、ご意見・ご要望は社内の関連部門で共有し、機器の機能や操作性の改善、販売・サービス活動の改善などに役立っています。



地球・社会の持続的な発展と自社の成長を目指し、社会的責任経営を実践しています。

企業行動のフレームワーク

私たちの CSR 活動は、リコーウェイを理念とした、グループ・グローバル共有の行動原則である、「リコーグループ CSR 憲章」と、「リコーグループ行動規範」がベースとなっています。



リコーグループ CSR 憲章

リコーグループは、社会から成長・発展を望まれる企業となり、経営のあらゆる側面から、グローバルな視点で「企業の社会に対する責任」(CSR) を果たすために、以下の原則に基づいて、各国の法令、国際ルールおよびその精神を理解し遵守するとともに、社会的良識をもって行動します。

- **誠実な企業活動**
 1. リコーグループの各企業は、品質・安全・情報セキュリティ・信頼性を確保し、環境への配慮および使いやすさを追求した、世の中に有用な商品・サービスを、開発し提供する。
 2. リコーグループの各企業は、公正、透明、自由な競争を行うとともに、政治、行政、市民、及び団体とは、健全かつ正常な関係を維持する。
 3. リコーグループの各企業は、自社の情報およびお客様の情報の適正な管理と保護を徹底する。
- **環境との調和**
 4. リコーグループの各企業は、環境保全を地球市民としての責務として受け止め、自主的、かつ積極的に取り組む。
 5. リコーグループの各企業は、環境に配慮した技術革新の推進と、環境保全の継続的な活動に全員参加で取り組む。
- **人間尊重**
 6. リコーグループの各企業は、リコーグループの企業活動に関わるすべての人々の、安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、すべての社員の、自主性と創造性の発揮できる豊かな個性を尊重する。
 7. リコーグループの各企業は、関係するすべての人々の人権を尊重し、また社内における差別のない明るい職場づくりを目指す。
 8. リコーグループの各企業は、強制労働・児童労働を認めず、人権侵害に加担しない。
- **社会との調和**
 9. リコーグループの各企業は、「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
 10. リコーグループの各企業は、国または地域の文化や習慣を尊重し、その発展に貢献する経営を行う。
 11. リコーグループの各企業は、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的、かつ適切・公正に開示する。

CSR の対象分野と活動概要

リコージャパンでは「リコーグループ CSR 憲章」に沿って、4つの重点分野を中心にさまざまな活動に取り組んでいます。

誠実な 企業活動

社会倫理に従って行動するとともに、商品やサービスにおいて、つねに品質・安全・情報セキュリティ・信頼性の向上を追求し、より多くのステークホルダーの方々に安心・満足、そして感動を提供することを目指しています。

- 行動規範の浸透、定着化
- 情報セキュリティ
- コンプライアンス、リスクマネジメント

環境との 調和

事業活動における環境負荷削減と生物多様性保全活動の両輪で環境経営をさらに強化し、環境保全と利益創出の同時実現を行っています。

- 省エネ、温暖化防止
- 省資源、リサイクル
- 汚染予防
- 生物多様性保全活動

人間尊重

すべてのステークホルダーの人権を尊重し、会社の発展と個人の幸福の一致を目指します。社員一人ひとりが能力を発揮してイキイキと働ける、安全かつ快適な職場環境づくりを目指しています。

- ダイバーシティ推進
- ワークライフ・マネジメント
- 安全、健康な職場づくり
- 人材開発

社会との 調和

「良き企業市民」として、地域の文化や習慣を尊重し、志を同じくする人々とのパートナーシップのもと、会社と社員が協力し合い、地球・環境・社会の持続的発展に貢献します。

- 「次世代育成」「地球環境の保全」「コミュニティの発展」を重点分野とした社会貢献活動
- ステークホルダーコミュニケーションの実施

サステナビリティ活動（CSR・環境経営）推進のスローガン

リコーグループは、サステナビリティの向上に総力を挙げて取り組んでいくため、新たな活動のスローガンを「Driving Sustainability for Our Future.」と決めました。私たち企業がビジネスを通じて生み出す新しい価値の提供により持続可能な社会の実現に貢献していく、という強い意志を込めています。

このスローガンの下、リコーグループは、サステナビリティの向上に積極的に取り組むことで事業成長を果たし、企業価値を高め、ステークホルダーの皆様の期待に応え続けていきます。

Driving Sustainability for Our Future.

持続可能な社会を、ビジネスの力で。

特集 社会課題に事業を通じて向き合う

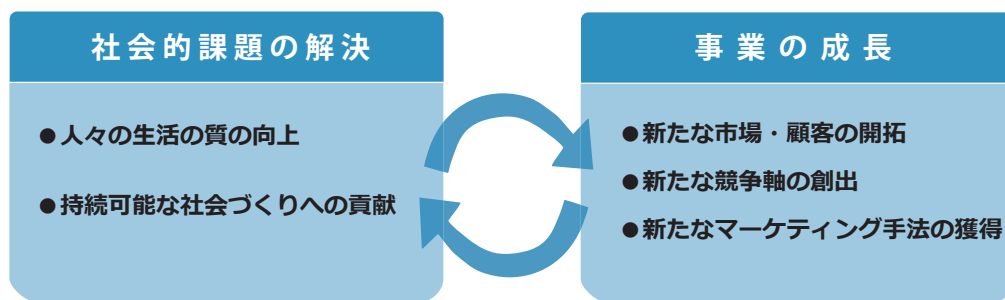
事業活動を通じて、持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

リコーグループは、社会的課題の解決と事業の成長の両立を目指す活動を成長戦略のひとつと位置づけ、2008年以降、取り組みを継続・強化しています。社会の課題を深く理解し、ステークホルダーと協働して活動することで、課題解決のみならず、新たな市場・顧客の開拓や競争軸の創出を目指して、自社の技術や商品・サービス、人材などのリソースを活かしながら取り組んでいます。

また、こうした取り組みの土台として、社員一人ひとりが社会の課題に対する関心と感受性を高め、自らが課題解決に取り組む組織風土の醸成を目指し活動しています。

リコーの取り組むCSV※

自社の強みやリソースを活かし、
「社会的課題の解決」と「事業の成長」の両立を目指す取り組み



※CSV : Creating Shared Value

シルバー人材へ就労機会の提供

全国のシルバー人材センターでは、高齢者が自らの能力や経験を活かして働きたいというニーズに応え、登録された会員が生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する取り組みを推進しています。そんな中、従来、事務職やIT系技術職として勤務していた方々が定年退職となり、新たな会員のニーズに対応する必要性も出てきました。一方、リコージャパンが提供するパソコンやプリンターなどのIT機器は今や、ビジネスシーンの必需品となっており、業務を停滞させたくないユーザー事情に応じ、土日祝日、年末年始、ゴールデンウィークなどに集中して機器の入れ替えを実施することが多くなっています。

このようなお互いの課題を解決するため、リコージャパンは、東京都のシルバー人材センターを統括する「公益財団法人東京しごと財団」と連携し、協業の仕組みづくりや依頼内容に対応できる会員の確保、作業手順書や作業後の検証などにより、品質を担保できる仕組みを構築しました。これにより、技術的な仕事に従事していた高齢者の方々が、これまでに培った技術スキルやノウハウを活かして生き生きと働ける機会を創出し、高齢化社会の活性化に貢献しています。



プリンターの一括納品。セッティングでは、それまでの豊富な経験を活かすことができます



中央区シルバー人材センター（東京都）
会員の皆様

シルバー人材センターの仕事の多くは清掃・除草などです。それまでの仕事とはかけ離れていたため、今までは社会から切り離されてきた感がありました。

今回は久しぶりにIT業界の方と仕事ができ楽しかったです。皆さんは年末の仕事納めで「明日から休める」と思って「わくわく」したと思いますが、我々はこの仕事ができると思い「わくわく」していました。

元技術者は、やはりPCのセットアップなどのような仕事が欲しいと思います。

自分の特技を活かせるような仕事があると、生き甲斐ができますね。

地域医療連携における IT でのお役立ち



神奈川県相模原市

2025年に4人に1人が75歳以上という「超高齢社会」が到来する日本では、首都圏をはじめとする都市部を中心に、深刻な医療危機が起こると予測されています。病床の不足が予測され、在宅医療・介護を拡充する必要性が高まる中で、在宅主治医を中核に、医療・介護の多職種が連携する地域包括ケアシステムの構築が急務となっています。そこで2013年12月8日に発足したのが、「相模原町田地区介護医療圏インフラ整備コンソーシアム」です。北里大学病院「トータルサポートセンター」の小野沢滋センター長を中心に、「すべての市民の真の希望に沿って、医療・介護が提供され、人としての尊厳が保たれる社会を実現すること」に賛同できる有志が集まり、2015年3月現在で、107事業所、23拠点の病院や薬局、地域包括支援センター、居宅サービスなどが参加しています。

そのネットワークづくりに貢献したのが、「RICOH Unified Communication System (UCS)」です。コンパクトで場所をとらず、設置や操作が簡単なため、どこでもすぐに会議に参加することを可能にしました。

小野沢センター長は、「閉ざされた医療の体制をオープンにして、顔見知りの関係づくりができたのは嬉しいですね。こうしたシステムが発展していけば、100年後、病院は今の形態をしていないかもしれないですね。

病院はあくまで緊急治療の場に、そしてみんなが望む在宅医療が実現している。暮らしを支えるために医学が使われることが理想です」と語ってくださいました。



北里大学病院 小野沢 滋 センター長



医療・介護のプロフェッショナルたちによる情報共有の会議に UCS を活用している

宮城県沿岸部

東日本大震災直後の沿岸部において、津波により多くのカルテが流出したことで、迅速に医療を受けることが出来ないう状況がありました。また、この事態をふまえて「地域医療連携」による患者情報共有の仕組み構築が急務となりました。具体的には、在宅医療／看護の現場において、従来は電話や FAX を利用していましたが、確認のために何度もやり取りが発生するなど、医師にも看護師にも負担がかかっていました。そこで、UCS を活用して次の二つの観点でコミュニケーションの向上を図りました。

1. 訪問看護ステーションの朝礼へのかかりつけ医・薬剤師参加による患者情報共有
2. 患者とその家族が訪問看護師の持参したタブレットにより、かかりつけ医の顔を見ながら会話

この結果、医師、看護師、患者、家族のそれぞれの立場の方から下記のような評価をいただくことができました。これからも自社の強みを生かして「地域医療連携」に貢献していきます。



画面の向こうの医療関係者と打ち合わせをする看護ステーションの皆様

UCS 利用者の声

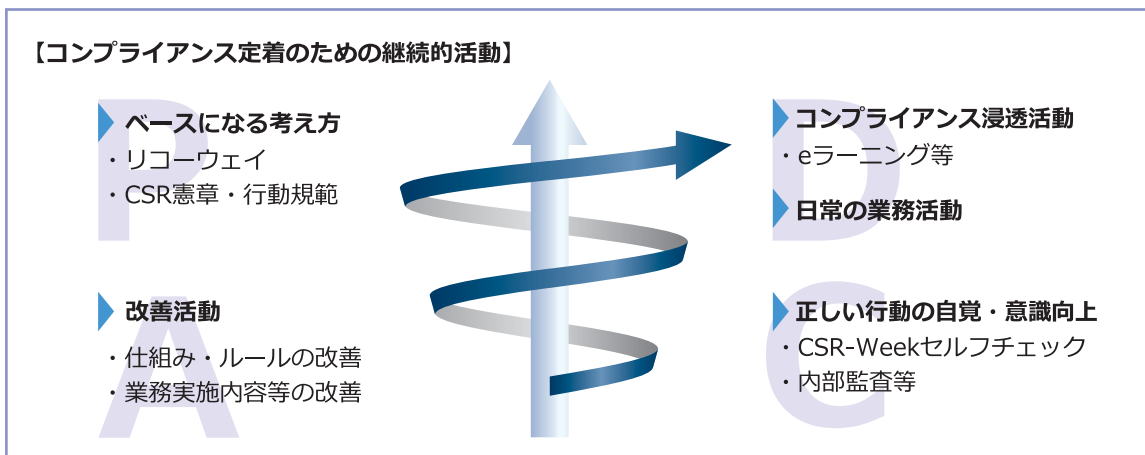
- 朝礼の際、看護師・薬剤師に対して直接指示が出せることで、聞き違いなどが減り、確認の電話が入らなくなり、外来患者の診察に集中できるようになった。(医師)
- 「複数対複数」で対話することで、より多くの情報共有が可能となった。(医師)
- 医師から直接指示が聞けるので、安心して在宅患者の看護にあたるようになった。(看護師)
- 先生の顔を見て会話ができるため安心感につながる。(患者)
- 血糖値計測などの不慣れな行為をする際、UCS を通して先生から直接アドバイスをもらえるため、安心感がある。(家族)

コンプライアンス

高い倫理観を持った誇りある企業を目指し、地道なコンプライアンス浸透活動を展開しています。

リコージャパンでは、コンプライアンスを法令を守るだけでなく、社会の構成員としての企業人、社会人として求められる倫理観・道徳観に根ざした良識ある行動を実践することを含めた活動と考え、推進しています。

私たちは永年かけて築いた「信用」を、いつまでも守り続け、高い倫理観を保持していくためにコンプライアンス活動を展開しています。グループ共通の行動規範を定め、コンプライアンスの浸透や、社員意識向上の継続的な活動を実施し、日常の業務活動に定着する風土づくりに取り組んでいます。



リコーグループ行動規範

リコーグループ行動規範は、リコーグループが企業活動を展開していくにあたって、法令および社内ルールを遵守し、社会倫理に従って行動することはもとより、社会との調和・共存という観点から、リコーグループの役員および社員の基本的な行動の規範を定めたものです。

【行動規範は次の内容で構成されています】

誠実な企業活動

- ① お客様の立場に立った商品・サービスの提供
- ② 自由な競争および公正な取引
- ③ インサイダー取引の禁止
- ④ 企業秘密の管理
- ⑤ 接待、贈答などの制限
- ⑥ 公的機関との取引および政治献金の取り扱い
- ⑦ 適正な輸出入管理
- ⑧ 知的財産の保護と活用
- ⑨ 反社会的行為への関与の禁止
- ⑩ 会社の利益と対立するような個人の行為の禁止
- ⑪ 会社資産の保護

環境との調和

- ⑫ 地球環境の尊重

人間尊重

- ⑬ 基本的人権の尊重

社会との調和

- ⑭ 社会貢献活動の実践
- ⑮ 社会との相互理解

基本宣言 (RICOH SALES COMPLIANCE POLICY)

私たちは、企業倫理の遵守がお客様の満足および信頼の向上につながるものと認識し、一人ひとりがこの基本行動規範を守ることがを宣言し、日々実践しています。

日本OS企業倫理行動基準
基本宣言
RICOH SALES COMPLIANCE POLICY

私たちは、企業倫理の遵守がお客様の満足及び信頼の向上につながるものと認識し、一人ひとりがこの行動規範を守ることがを誓います
この行動規範に反するおそれのある行為を見つけた場合は、適切な報告先に直ちに報告し、決して「見て見ぬふり」はしません

会社名

従業員名サイン

基本行動規範
RICOH SALES COMPLIANCE CODE

1. 法令・規則遵守
①法令、会社の規則、業務ルールに反する行為は行いません。[CODE01 ルール遵守]
- ②談合等、取引や入札の公正を害する行為は行いません。[CODE02 談合法]
- ③他人の著作物の違法な複製、改変行為は行いません。[CODE03 著作権]
2. より高い倫理観の保持
④社会のルール、倫理に反する言動は行いません。[CODE04 倫理]
- ⑤人権を尊重し、他人に不快感を与えるような言動は行いません。[CODE05 人権]
- ⑥約束を誠実に履行し、お客様の信用を裏切る行為は行いません。[CODE06 誠実]
3. 公私の分別
⑦業務上の立場・権限を悪用せず、会社のもの(人、物、金、情報)を私的に使用しません。[CODE07 公私混同]
- ⑧取引にあたり取引先との間で、不適切な金品や便宜の授受は行いません。[CODE08 わいろ]

コンプライアンス浸透活動

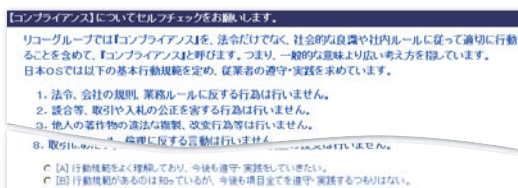
● CSR-Week セルフチェック

CSR-Week セルフチェックは、全社員が毎月行うセルフチェック活動です。チェック項目は、社内ルールに止まらず、社会的な問題となっている直近の題材やお客様から寄せられた声をもとに作成し、自分自身の行動の振り返りと正しい行動の再自覚を促す取り組みです。

- 目的：・企業倫理を含む CSR の継続研鑽を通じて、経営品質の向上に資する。
 ・社会の一員として、法令・ルール・マナーを遵守できる人材育成と組織風土を醸成する。
- 実践：・役員・従業員・派遣社員も含め、全社員が毎月初めにセルフチェックを実施。
 ・正しい理解と行動実践をするために組織マネジメントを実施。

【セルフチェック内容】

- ・法令遵守
- ・リコーグループ行動規範
- ・グループスタンダード
- ・情報セキュリティ
- ・社内ルール・マナー
- ・環境保全活動
- ・社会貢献活動



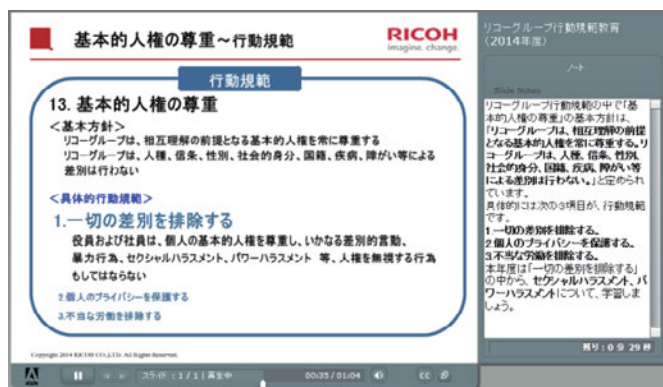
画面イメージ



セルフチェック用グループウェアのアイコン

● 行動規範のeラーニング

リコーグループ行動規範のeラーニングは、毎年1回、役員・社員全員の必須教育として実施しています。学習の最後に、行動規範について署名することで、さらに意識を高めるようにしています。



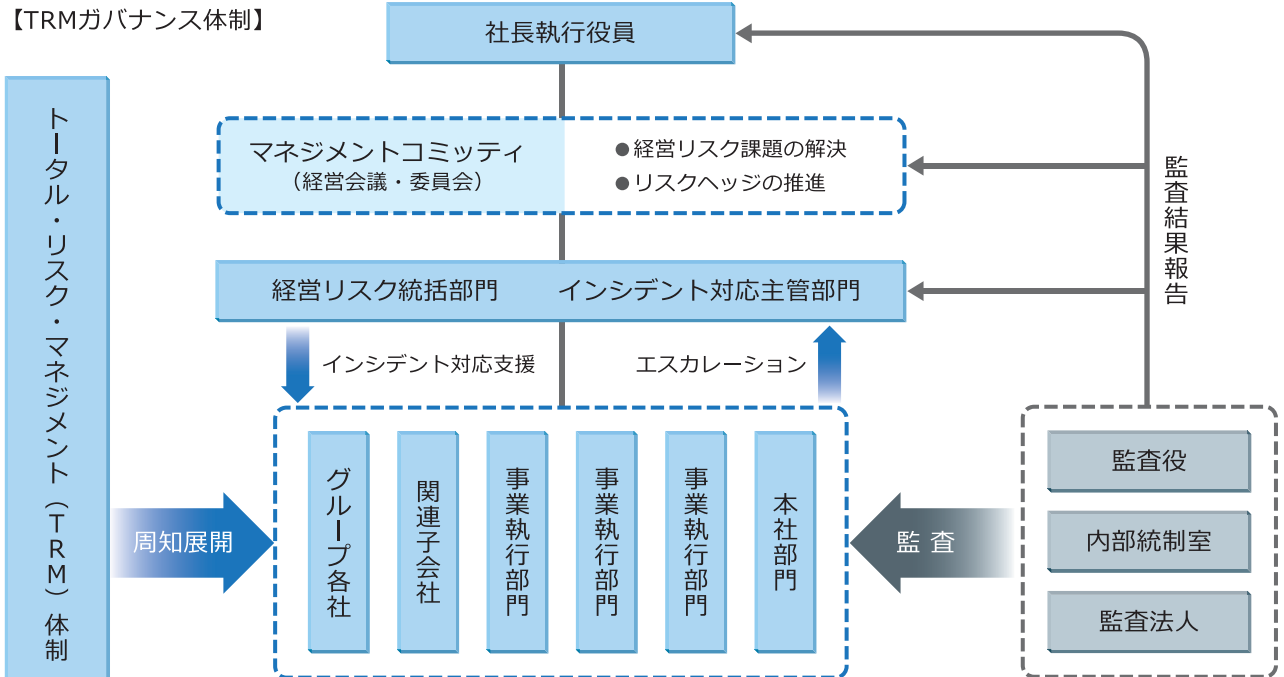
● 内部通報制度「ほっとライン」

リコージャパンでは、社員向けの「ほっとライン」を開設し、コンプライアンスや行動規範に関する社員からの相談・通報ができる仕組みを構築しています。この仕組みにより、「リコーグループ行動規範」に違反する、または違反するおそれのある行為が行われていることを知ったときの通報と、ルール・仕組みに関する相談・提案を受け、コンプライアンスの取り組みを強化しています。（※相談した社員の保護を万全に行っています）

| 相談窓口 | 名称 | 相談内容など |
|------------|-------------------------------------|--|
| 社内相談窓口 | リコージャパン「ほっとライン」 | ①残業時間や休日取得の問題 ②職場の人間関係（セクハラ・パワハラを含む） ③職場環境の改善についての相談 ④健康面での相談（メンタルヘルスを含む） |
| グループ共通相談窓口 | リコーグループ「ほっとライン」 《社外受付》 《社内受付》 | 業務を遂行するにあたって、関連する法令や企業倫理、社内規則の解釈や対処方法について |
| | SOS 総合相談グループ | 年金・保険・家庭（離婚問題など）・法律・税務・経営・相続・金融・メンタルヘルス・不動産・消費者問題・教育 |

事業執行、日常業務の遂行における
リスク管理を徹底しています。

リコージャパンは、多様なステークホルダーの期待に応えるという使命感と、社会的良識にかなう高い倫理観をともに備えた企業風土こそが、自らの行動を規律するものと強く認識し、自ら掲げた戦略や事業目標などを組織として機能させ、達成するために、内部統制プロセスの整備・運用・見直しを行い、「事業機会に関する不確実性」と「事業活動の遂行に関連する不確実性」の双方を含んだ総合的なリスクマネジメント（※TRM）と内部統制に取り組んでいます。



※TRM : Total Risk Management

リスクマネジメント

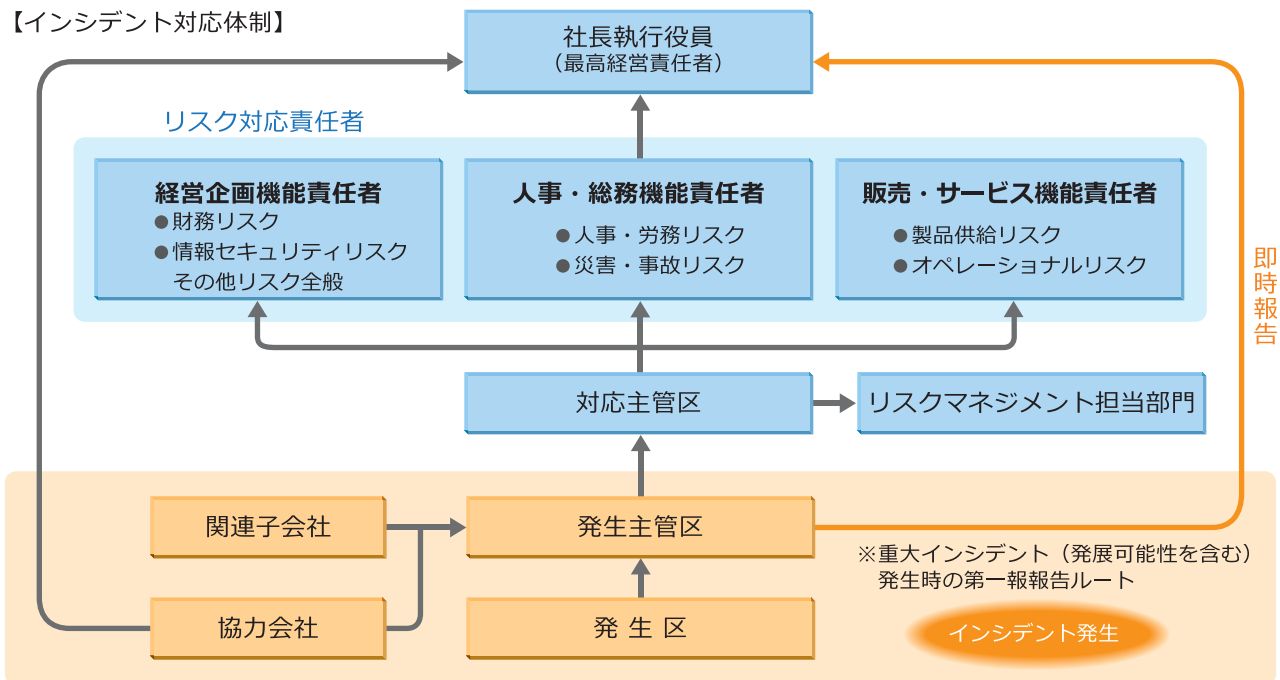
リスクとは、発生した場合にリコージャパンおよびリコーグループの企業活動に悪影響を及ぼすおそれがある事象を言い、インシデント（事件・事故）発生時において人命や社会への影響、被害金額が大きいリスク項目を下記の11カテゴリーに定め、トータルな管理体制のもとマネジメントを行っています。

● 経営リスク・カテゴリー



● インシデント発生時の対応

インシデントが発生した場合は、迅速かつ的確に対応できるように、インシデントの「緊急度」「重要度」に基づき、最高経営責任者への即時報告と緊急連絡網によるエスカレーション（発生報告・情報共有）を行い、発生状況の把握から対応までの役割を明確にした組織体制の実動により、インシデントの終息・再発防止のマネジメントを実施しています。



内部統制

リコーグループは、「リコーウェイ」に定められた価値観に立脚し、企業倫理と遵法の精神に基づき、競争力の強化を目指した内部統制システムを整備・運用し、その継続的な改善に努めています。活動の指針として「リコーグループ経営管理基本原則」を制定し、その中の「内部統制原則」に沿って活動を展開しています。リコーグループとして遵守すべき共通の規則については、グループ標準「リコーグループスタンダード (RGS)」として制定し、グループ全体で遵守するよう推進しています。さらに業務の有効性と効率性の向上、財務報告の信頼性の確保、企業活動に関連する法令・社内ルールなどの遵守確認などを目的として内部監査を実施しています。

リコーグループ内部統制の目的

- 業務の有効性と効率性の向上
- 財務報告の信頼性の確保
- 企業活動に関連する法令・社内ルールの遵守
- 資産の保全

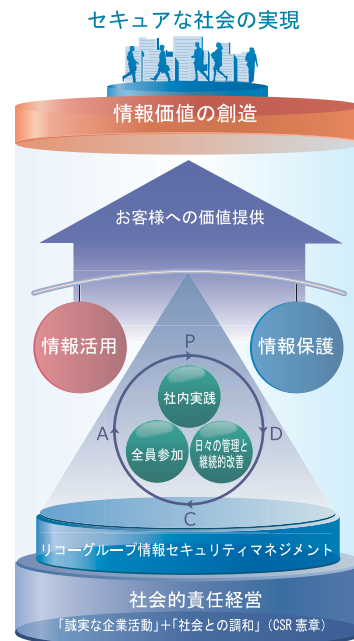
情報セキュリティ

情報セキュリティへの取り組みを、
全員参加で実践しています。

リコーグループの目指す情報セキュリティ

情報分野を事業領域とするリコーグループにとって、情報セキュリティは不可欠の要素と認識しています。そのため、情報セキュリティへの取り組みを全員参加の活動と位置づけ、現場・第一線での日々の管理と継続的改善を進めるとともに、それらを基盤としてお客様への価値提供を目指した、自社製品・サービスの積極的な社内活用を実践しています。こうした情報セキュリティ活動は、「リコーグループCSR憲章」にある「誠実な企業活動」と「社会との調和」の実践を目指すものです。

| 活動のベースとなる3つの考え方 | |
|-----------------|---|
| ① 全員参加 | 役員から一般社員はもとより、協力会社など、パートナーの方々を含む全従業員で取り組む。 |
| ② 日々の管理と継続的改善 | 各層のマネジメントレベルでPDCAサイクルを回して、継続的改善に取り組む。 |
| ③ 社内実践 | 自社の情報セキュリティ商品・ソリューションを、自らの情報セキュリティレベル向上に役立てながら、その有用性を確認し、上手な使い方のノウハウ蓄積や製品・サービスの改良に取り組む。 |



ISO/IEC27001 (ISMS) 認証取得

リコーグループは2004年12月に「ISMS※ 認証基準 Ver.2.0」の統一認証を同時取得いたしました。その後、2007年3月に「ISO/IEC 27001:2005」に移行登録を完了し、2014年12月には規格改訂された「ISO/IEC 27001:2013」の移行審査に合格しています。

※ISMS=Information Security Management System

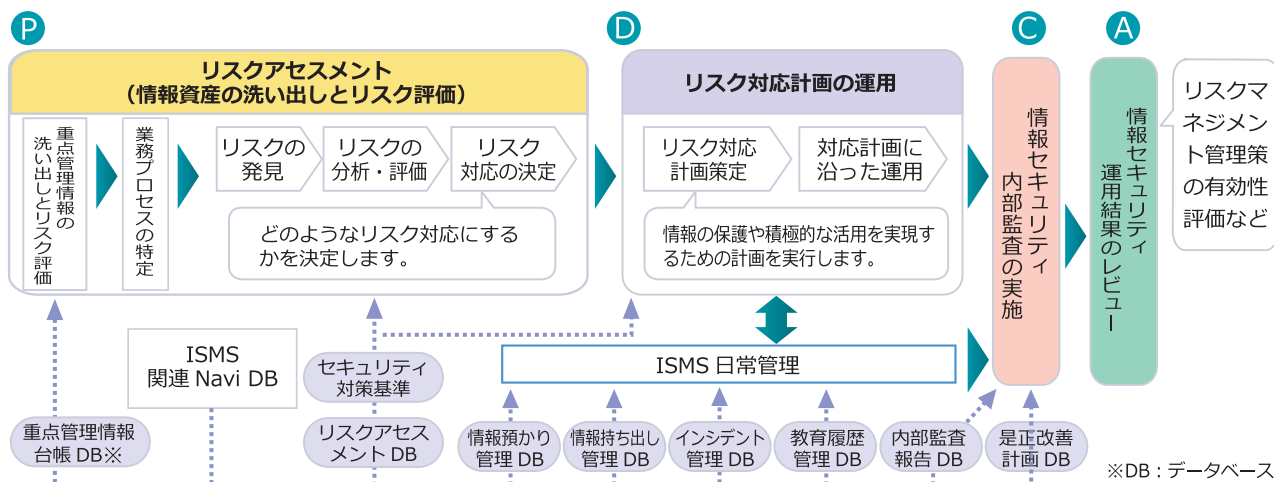


IS 85241、ISO(JIS Q)27001
【ISO27001 認証ロゴマーク】

情報セキュリティの運用

● ISMSの運用イメージ

情報セキュリティの基本方針に則って、情報の保護と積極的な活用をバランスよく運用し、自律的なリスクマネジメントの実現を目指しています。



※DB：データベース

● 情報セキュリティ教育

情報セキュリティ対策では、社員一人ひとりが情報活用にとまらぬリスクを認識して、自分の仕事を改善していく必要があります。そこで「情報セキュリティ教育」に力を入れ、全社員の意識とスキルを高めています。



【情報セキュリティeラーニング】



【ISMSハンドブック】

● 内部監査とマネジメントレビューの実施

内部監査は ISMS の適合性や有効性を確認するため、定期的実施しています。リスクアセスメント結果や、教育、日常ルールなど、セキュリティにおける強み・弱みを明確にし、監査結果に対して是正・改善することで、リスク低減とセキュリティレベルの向上を図っています。

リコー日本の内部監査は ISMS の専門教育を受けた監査員が被監査組織と同じ目線に立ち、ともに考え、新たな「気づき」を発見・共有する場となるようにしています。1年間の ISMS 活動における重要な情報は、マネジメントレビューとして経営陣に報告します。また、トップからの ISMS 方針を受け、翌年度の施策を展開しています。

目的=ISMSの適合性・有効性確認



「気づき」の監査による効果

- ・潜在的リスクの炙り出し
- ・新たなセキュリティホールが発見
- ・業績向上に対する寄与

● 情報セキュリティ管理策の実践事例

インシデント（事件・事故）により損害が発生することを防ぐため、さまざまな管理策を策定・実施しています。日常業務での、身近な管理策の事例をご紹介します。

1 情報資産の重点化

- ・漏洩したときに会社の経営に重大な影響を及ぼす情報資産は厳重に別管理し、運用記録を残し、定期的な洗い出しをしています。
- ・その他の情報資産も判断基準重要度を決定し、重要度により取り扱いルールを決めています。

2 お客様情報預かりルール

- ・お客様情報はお預かりしないことを前提としていますが、業務上やむを得ずお預かりするときは、下記のフローで運用しています。

【情報預かりの運用フロー】



3 情報資産の持ち出し

- ・パソコンやUSBメモリなどの情報端末を社外に持ち出す場合は、事前に持ち出し申請して確認を受けています。



管理策は……

- ・ウイルスチェック
- ・BIOS※、HDDパスワード
- ・媒体は体から離さない。
- ・重要ファイルチェッカー

情報持ち出し内容をトレースするツールです

※Basic Input/Output System

4 iPadの利用ルール

- ・不要な企業秘密のデータを保存しない。
- ・移動中は体から離さない。
- ・電車の網棚や足元などに置かない。
- ・車の中に放置しない。
- ・飲酒予定のある際は、一旦事務所に持ち帰るなどして、携行しない。
- ・会社の定めたクラウド以外利用禁止。iPadはApple Inc.の商標です。

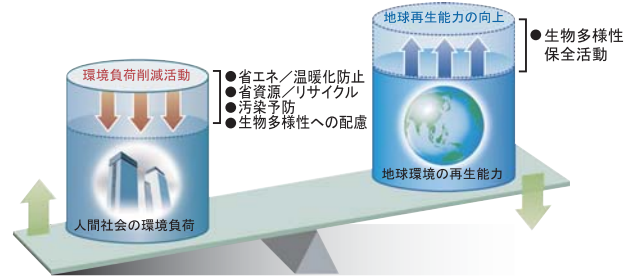


環境保全活動

事業活動の環境負荷を、地球環境が許容できる範囲に近づけることを目指して、環境保全活動を展開しています。

リコーグループ地球環境保全の考え方

リコーグループでは、環境綱領に基づき、環境保全活動と経営活動を同軸であると考え、地球市民の使命として、自らの責任で地球環境保全に取り組んでいます。環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し、高めていくことで地球環境の保全に貢献します。



リコーグループ環境綱領

基本方針

リコーグループは、環境保全は我々地球市民に課せられた使命と認識するのみならず、環境保全活動と経営活動を同軸であると考え、自ら責任を持ち、全グループをあげてその活動に取り組む。

行動指針

1. 高い目標 法規制の遵守はもとより、自らの責任において、社会の期待を先取りした高い目標を設定し、その実現を通じて経済価値の創出に努めていく。
2. 環境技術開発 顧客価値を創造し、広く社会にも活用される革新的な環境技術開発をすすめていく。
3. 全員参加の活動 すべての事業活動において環境への影響を把握し、全員参加で汚染予防や、エネルギーおよび資源の有効利用について継続的改善を行っていく。
4. プロダクト・ライフサイクル 商品とサービスの提供にあたっては、調達・生産から販売・物流・使用・リサイクル・廃棄に至るすべての段階における環境負荷の低減に努めていく。
5. 意識向上 一人ひとりが広く社会に目を向け、積極的な学習を通して意識向上を図り、自ら責任を持って環境保全活動を進めていく。
6. 社会貢献 環境保全活動への参画・支援によって、持続可能な社会の実現に貢献していく。
7. コミュニケーション ステークホルダーと連携した環境保全活動を展開し、積極的なコミュニケーションを通して社会の信頼を得る。

ISO14001 認証取得

リコーグループでは、2001年にISO14001を取得し、全員参加による環境活動を進めています。活動の柱となるのが環境マネジメントシステムで、経営と環境活動を一体化し、事業活動の中に環境行動計画を取り込み活動しています。今後も環境負荷低減に向け、組織的・継続的に取り組んでいきます。



【JQA-E-70001】

● 2014年度環境マネジメントプログラム ●

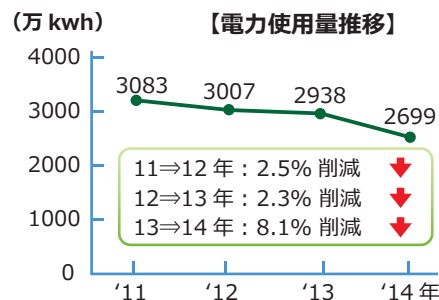
| 環境行動計画 | 目 標 | 2014年度実績 | 2013年度実績 |
|--|-------------|----------|----------|
| 国内販売・保守活動のエネルギー起源 CO ₂ 排出量の削減 | 前年度比 1% 削減 | 3.2% 削減 | 5.3% 削減 |
| 生物多様性保全を目的とする社会貢献活動の実施 | 45件以上/年度 | 109件 | 236件 |
| 重点施策 | 目 標 | 2014年度実績 | 2013年度実績 |
| 排出物の抑制と有価物化による廃棄物量削減 | 前年度比 10% 削減 | 4.3% | 9.2% |

省エネ・温暖化防止活動

社員一人ひとりが意識し、オフィスでの節電対策の実施や、営業活動でのエネルギー使用量削減といった、環境負荷の低減に取り組んでいます。特に、東日本大震災以降に重点的に取り組んでいる事業所での節電・省エネ活動と、営業車両の削減、軽車両化、カーシェアリングによるガソリン使用量の低減活動に力を入れています。また、事業拠点の最適配置・事業運営コスト削減の視点での事業所統廃合も進め、これもエネルギー削減に寄与しています。

● 主な節電対策

- ・ 夏季一斉休暇の取得
- ・ クールビズ、ウォームビズの実施
- ・ 消費電力の見える化システム（電力測定器導入）
- ・ オフィス空調室温調整（夏季目安：28℃、冬季目安：20℃）
- ・ オフィス内照明の間引き、不要な照明・広告塔の消灯
- ・ OA 機器の必要最小限の稼動と、OA 機器、PC 省エネモード設定
- ・ 定時退社の推進（照明、OA 機器、PC 電源 ON 時間の設定）



● ガソリン使用量削減

地球温暖化の原因となるCO₂の発生を削減するため、エコドライブ徹底に加え、大都市圏では電動機付き自転車を導入しています。また、「低公害車開発普及アクションプラン」に基づいた低公害車の導入、車両入れ替え時の小型化（小型自動車→軽自動車）を積極的に推進しています。

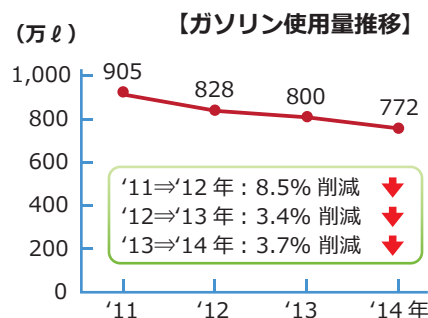


営業車両のエコドライブ徹底

- ① ふんわりアクセル
- ② 加減速の少ない運転
- ③ 早めのアクセルオフ
- ④ エアコン使用を控えめに
- ⑤ アイドリングストップ
- ⑥ 暖機運転は適切に
- ⑦ 道路交通情報の活用
- ⑧ タイヤ空気圧のこまめなチェック
- ⑨ 不要な荷物は積まない
- ⑩ 違法駐車はしない



専門トレーナーによる安全運転（エコドライブ）講習実施風景



● グローバル・エコアクション

リコーグループでは、国連の定める「世界環境デー」の6月5日を、「RICOH GLOBAL ECO ACTION」として、地球環境について考え、行動する日としています。2006年からスタートしたこの環境イベントは世界中のリコーグループが参加していますが、リコージャパンでは社員一人ひとりがそれぞれのエコアクションを考え、これを『エコ宣言』としてデータベースに登録し、それぞれの宣言を実践するようにしています。2014年度は約 11,000 名が登録しました。



世界環境デーに、意識啓発のためグリーンのを身につけて出社しました

事業活動の環境負荷を、地球環境が許容できる範囲に近づけることを目指して、環境保全活動を展開しています。

省資源化

● 電子データ化やプリント出力の工夫による紙の消費削減

必要な書類は電子化して共有し、勤務管理、交通費精算などはパソコン内で処理、また受信したFAXはパソコン画面で確認するなど、紙をできるだけ使用しないワークスタイルを展開しています。また、両面・モノクロ印刷を初期設定とし、印刷ドライバーで仕上がりを確認するなど紙を無駄にしない努力をしています。さらに、印刷やコピー出力はICカードによる認証システムを導入し、出力枚数や両面集約プリントの使用率などをログ管理して、ペーパーレスに対する意識を高めています。



● ペーパーレス会議による紙資源の消費削減

リコーグループでは、会議の生産性向上（移動時間・交通費削減）と紙資源の消費削減のため、テレビ会議システムやプロジェクターを利用した会議・打ち合わせを頻繁に行っています。また、ペーパーレス会議は、紙資源の無駄遣いをなくすだけでなく、画面に参加者全員の視線を集中させることができるので、話題の共有化がしやすく、議事の進行がスムーズになるという効果もあります。



■ RICOH Unified Communication System (UCS)

映像と音声、そしてドキュメント、テキスト、手書き入力などの多様な情報を統合してコミュニケーションできる、UCSを活用しています。



● タブレット活用による環境負荷低減

リコージャパンでは、モバイルとクラウドを活用することで営業プロセスを見直し、営業生産力向上と顧客関係力強化への取り組みを行い、全国の営業や支援スタッフがタブレット約6,000台を活用しています。電子化されたカタログやツールを動画・静止画の両方でご覧いただくことで、インパクトのある効果的なプレゼンテーションができるようになりました。



デジサイン Tab

お客様の現状に即した旬な素材（営業ツール・教育資料）が自動配信されるので、有効な提案ができるツールです。



CLOMO SecuredDocs

お客様のお困りごとや課題に応じた、動画、提案書など、さまざまなコンテンツを準備しています。いわゆる「電子キャビネット」です。



iCatalog

製品の電子カタログです。PDFファイルにページリンク機能を設定することで、興味・関心のあるページにすばやくアクセスできます。



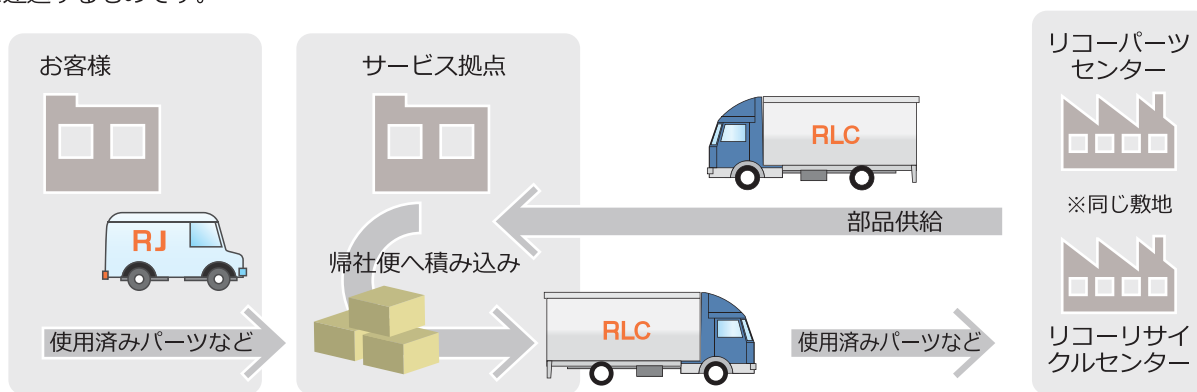
デジサインおよびデジサイン Tab は、サイバーステーション株式会社の商標または登録商標です。
CLOMO および CLOMO SecuredDocs は、株式会社アイキューブドシステムの商標または登録商標です。
iCatalog は、株式会社 Lifebook の商標です。

製品・部品回収とリサイクル

リコーグループでは、環境負荷を少しでも低減するために、省資源・リサイクル活動を推進しています。グループ全体の仕組みで運用しているのは、お客様の使用済み製品（コピー機・プリンター・トナーカートリッジなど）の回収とリサイクル、およびリユース部品を使用したリコンディショニング機（再生機）の販売です。各社・各事業所では、ごみになるものを持ち込まないことを基本に、どうしても排出されるものについては、再資源化・リサイクル化を推進し、ごみの減量に取り組んでいます。

● 使用済み製品・部品の回収とリサイクルシステム

リサイクルの促進を図るため、保守サービス時に発生する交換済みパーツの回収リサイクルシステムを導入しています。このシステムは、部品回収のための配車は行わず、リコーロジスティクス（RLC）が運用している部品配送後の帰社便に、日本全国のサービス拠点から回収されたパーツを積み込み、メーカーが運用しているリサイクル拠点に運送するものです。



● リコンディショニング機（再生機）の販売

販売活動においても省資源・リサイクル活動を推進しています。環境配慮型製品のご提案の中で、官公庁、民間企業とも、リコンディショニング機をご検討くださるお客様が増えています。リコンディショニング機では、リユース部品使用率 80%（質量率）、製造時の CO₂ 排出量 93% 削減（新造機との比較）を実現し、環境負荷を大きく低減しています。



● お客様の環境負荷低減

自社の事業活動による環境負荷だけでなく、リコー製品使用時に発生する環境負荷についても、お客様とともに削減していかなければならないと考えています。製品使用時の環境負荷の「見える化」を通じた提案活動により、お客様先で、お客様の環境負荷削減を支援する販売活動を展開しています。

| お客様の活動 | お客様のニーズ | 製品サービスと貢献内容 |
|--------|---------------------|---|
| 選ぶとき | 環境にやさしい製品を購入したい | <ul style="list-style-type: none"> リコンディショニング機、省エネ機器販売 国内工場でのキittingによる梱包材などの削減 植物由来のバイオマストナー使用による石油資源枯渇への対応 |
| | 消費電力や紙の使用実績を一括管理したい | <ul style="list-style-type: none"> @Remote ご使用状況報告書サービスによる CO₂ の見える化 |
| 使うとき | 紙の使用量を減らしたい | <ul style="list-style-type: none"> 両面機能 / Scan to Email & Folder / ペーパーレス FAX による紙削減 デジタルオンデマンド印刷による印刷物の在庫削減 |
| | 消費電力を減らしたい | <ul style="list-style-type: none"> 省エネモードの活用 |
| 戻すとき | 使用済み製品をリサイクルしたい | <ul style="list-style-type: none"> トナーボトル / インクカートリッジ / 使用済み製品・部品の回収による資源の有効利用 |

生物多様性保全活動

地球環境を支えている多様な生き物の営みが衰えつつあるという認識のもと、生物多様性保全に取り組んでいます。

人間社会は生物の多様性がもたらす恩恵を享受する一方で、社会からの排出物が、地球の再生能力をはるかに超える環境負荷をかけ、このままでは人間社会の存続が危ぶまれます。私たちは地球の再生能力を維持し、高めて行くことも重要であるという認識のもと、2009年3月に制定された、「リコーグループ生物多様性方針」に基づき、さまざまな「生物多様性保全活動」を展開しています。また会社も活動支援の一環として、交通費やボランティア保険の費用を負担することで、環境ボランティア活動を支援しています。

リコーグループ生物多様性方針

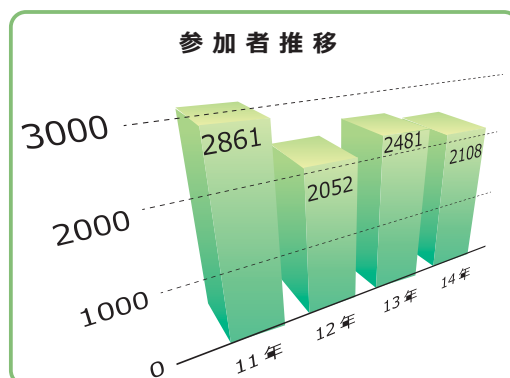
社会は豊かな地球環境によって生まれ、その地球環境を支えている多様な生き物の営みが衰えつつあるという認識のもとに生物多様性方針を掲げる。

- 基本方針** 私たちは生き物の営みによる恩恵を得、生物多様性に影響を与えながら事業活動を行っているという事実を踏まえ、生物多様性への影響を削減するとともに、生物多様性保全に貢献する活動を積極的に行う。
- 1. 経営の課題** 生物多様性保全を企業存続のための重要課題のひとつと捉え、環境経営に組み込む。
 - 2. 影響の把握と削減** 原材料調達を含む事業活動全体における生物多様性への影響の評価、把握、分析、数値目標化を行い、その影響の継続的な削減に努める。
 - 3. 進め方** 生物多様性と、事業の視点により、影響・効果の高い施策から優先して取り組む。
 - 4. 技術開発の促進** 持続可能な社会の実現を目指して、生物資源を利用する技術開発、生態系の仕組みや生物の成り立ちに学び、その知恵をいかした技術開発・生産プロセス革新を推進する。
 - 5. 地域との連携** 世界に残る貴重な生態系と、事業を行う国・地域の生物多様性を保全する活動を、行政機関のみならず、地域住民、NGO※などステークホルダーとともに持続可能な発展の視点をもって推進する。
 - 6. 全員参加の活動** 経営者の率先した行動と全社的な啓発施策により、すべての社員の生物多様性への理解と認識を高め、自主的な保全活動につなげる。
 - 7. 環の拡大** お客様、仕入先様、他の企業、NGO、国際組織などと連携した活動により、生物多様性についての情報・知見・経験を共有し、生物多様性保全活動の環を広げる。
 - 8. コミュニケーション** 自らの活動、成果の具体的内容を積極的に開示することにより社会の生物多様性保全活動の気運向上に貢献する。

※NGO : Non Governmental Organization (非政府組織)

活動実績

ここ4年で見ると毎年約2,000名以上が活動に参加しています。リコーグループ全体で取り組んでいるこの活動は、地球環境の保全に貢献する取り組みと認識しています。現在の活動状況などの棚卸しを行い、社員が参加しやすい企画を立てるとともに、もっと社会に広げていくためにも、お客様や地域の住民の皆様と一緒に活動を進めていきます。



北海道 小樽いのちの森植樹祭



北海道 樽前山麓国有林植樹活動



福島 猪苗代湖クリーンアクション



埼玉 荒川クリーンエイド 川口市



山梨 リコーの森 自然環境美化保全活動



東京 たまちボランティア活動デー



東京 荒川クリーンエイド 墨田区



千葉 リコー千葉の森 保全活動



静岡 静岡市大浜海岸の清掃



岐阜 リコーえなの森 森林保全活動



滋賀 金勝山森林保全活動



和歌山 紀の川一斉清掃



鳥取 秋の鳥取砂丘清掃



福岡 海の中道 ビーチクリーンキャンペーン



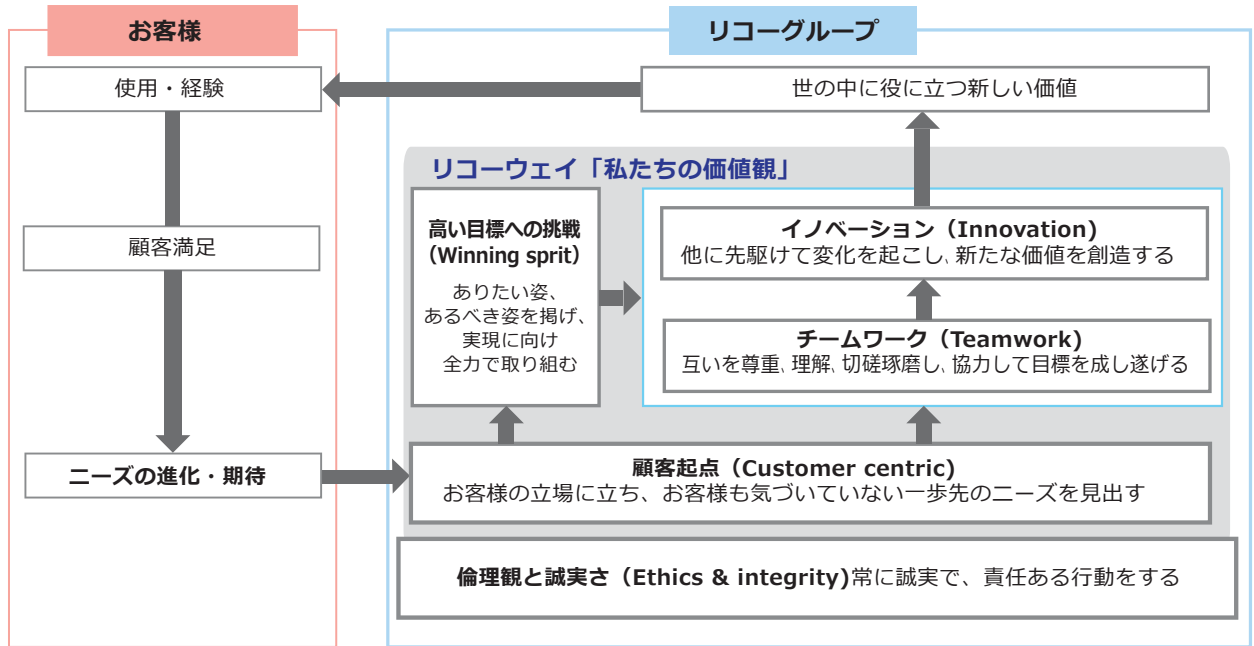
鹿児島 錦江湾クリーンアップ作戦



社員を支える仕組み

顧客起点で発想し、高い目標に挑戦しつづけ、チームワークを発揮してイノベーションを起こし、高い倫理観と誠実さを持って仕事に取り組みます。

リコーグループは、リコーウェイの三愛精神をもとに事業・仕事を通じて、自分、家族、顧客、関係者、社会のすべてを豊かにすることを目指しています。創業の精神である“三愛精神”と密接に結びついた「顧客起点」、「高い目標への挑戦」、「チームワーク」、「イノベーション」、「倫理観と誠実さ」の価値観をもとに行動しています。

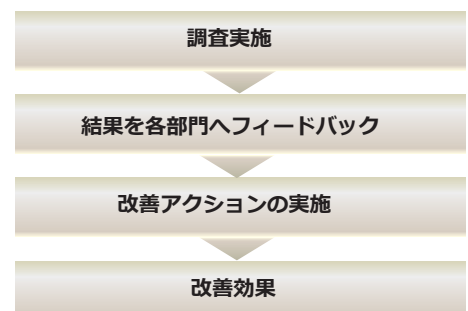


● リコーウェイをもとにした私たちの主な取り組み

| | |
|------------------------------|--|
| 1. 社員の安全と健康を守る取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 健康管理／産業保健体制 短縮／長時間労働者への健康障害防止 相談窓口の設置 非喫煙化 総労働時間 労務研修 |
| 2. 社員のモチベーションを高める取り組み | <ul style="list-style-type: none"> RICOH JAPAN AWARD (全社表彰制度) |
| 3. 多様性を尊重し、仕事と生活のバランスを保つ取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍推進 定年再雇用社員への対応 ファミリーデー 障がい者雇用 復職支援セミナー 休暇制度 |
| 4. 人材を育成する取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 新入社員合同研修 組織開発研修 T1 Grand-Prix |

あるべき姿の達成に向けた組織および社員の活性化状況を把握し、より良い会社になるための課題を発掘し、改善活動を促進するために社員意識調査を定期的に行っています。(2015年度からは隔年で実施する予定) 調査は個人を特定できないよう無記名で実施し、回答はすべて機密扱いとし、結果を各部門にフィードバックしています。

その上で全社としての課題、部門としての課題に対しての改善アクションに取り組んでいます。この結果として、各部門での時間外労働の削減、年休取得率向上など、一定の成果につながっています。



リコージャパンは、「全社員が顧客に向かい顧客起点で成長するために、社員一人ひとりが主役である現場主体の組織になり、どんな環境下でも利益を達成し、信頼され続ける会社」を目指します。それを達成するためには、社員の心身の健康維持・増進が大前提となっています。

働きやすい職場を目指して

1. 健康管理／産業保健体制

「生活習慣病予防」と「がんの早期発見」に狙いを絞った健康診断を実施しています。また、その診断結果に基づく健康維持・増進に向け、産業医、保健師を地域ごとに配置し、健康診断受診後のフォローを充実させるとともに、健康保険組合による特定保健指導を実施し、さらなる生活習慣病予防に取り組んでいます。

2. 非喫煙化

2015年1月より、就業時間内全面禁煙がスタートしました。健康保険組合による禁煙治療費補助、また、安全衛生委員会にて産業医による禁煙についてのセミナーを実施し、禁煙をサポートしています。

3. 総労働時間短縮／長時間労働者への健康障害防止

①総労働時間については、限られた時間で効率よく仕事を進め成果を上げるために、上司が部下の労働時間を日々確認できるツールを活用しています。

②長時間労働者については、「健康チェック（セルフチェック票）」を実施し、疲労の蓄積度合いを把握し、その結果により、フォローが必要な社員には産業医による面談、就業措置を実施しています。

4. 労務研修

全国各地域の管理担当責任者に対し、弁護士を講師にお招きし、「労務リスクを防ぐための管理担当の役割」として、役割・責任、部下へのマネジメントについて労務研修を実施しました。

5. 相談窓口

社員が、職場のこと、家族のこと、心身の健康に関する悩みなどを一人で抱え込まず、速やかに相談できるよう、社内相談窓口『リコージャパン「ほっとライン」』を設置しています。また、社外相談窓口も設け、安心して相談できる体制を整えています。



労務研修風景

社員のモチベーション向上のために

リコージャパンでは、全社の模範となるような顕著な業績や素晴らしい活動の成果を称えて表彰し、全社共通の価値観を共有することを目的に、RICOH JAPAN AWARD という年間表彰制度を運用しています。その内容は全社員を対象にした社員職種別の表彰に加えて、お客様への価値提供に対する表彰、社会貢献活動への表彰などさまざまなものがあります。選考にあたっては、書類だけでなく社員投票に加え、プレゼンテーションによる審査など、審査の精度を高め、好事例の共有につなげています。

2015年5月15日、東京ディズニーリゾートの舞浜アンフィシアターで、RICOH JAPAN AWARD 2014 表彰式を開催しました。職種・役職も多様な433名の優秀社員が集まり、幹部社員約100名と、受賞者の家族約150名が見守る中で表彰されました。表彰と同時に受賞者による好事例の紹介も行われ、モチベーションを大きく向上させる場となりました。また、日頃お世話になっているお客様、助け合っているチームメンバー、そして受賞者を支えている家族へ、感謝の気持ちを新たに伝える機会とするため、仕事風景やチームメンバーの映像もふんだんに紹介しました。これからも、お客様から学び、社員が互いに高め合う風土づくりを継続していきます。

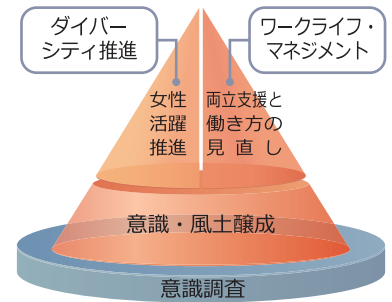


RICOH JAPAN AWARD2014 表彰式

人間尊重 ダイバーシティ推進と ワークライフ・マネジメント

多様な個が活躍できる環境をつくり、
効率的な働き方で仕事と生活の双方の
充実を目指します。

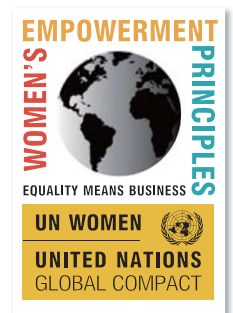
性別、年齢、障がいの有無、国籍や経験、経歴、出身などの違いにかかわらず、さまざまな個人が最大価値を発揮できることを大切にしています。お互いの違いを尊重しながら議論を交わし、切磋琢磨することで、一人ひとりが成長し、組織が発展し、企業価値も向上することが、私たちの目指す姿です。リコージャパンでは「ダイバーシティ推進」と「ワークライフ・マネジメント」の両輪で取り組み、新しい働き方への挑戦を行っています。



女性の活躍推進に向けてのコミットメント

国連グローバル・コンパクトとUN Womenが共同で作成した「女性のエンパワメント原則（WEPS）」への支持を2013年5月に表明し署名しました。WEPSは、女性が可能性を十分に発揮し、能力を高め、その努力を正当に評価されるような労働環境・社会環境を整備することを定めた行動原則です。

また、経団連の会員企業として、経団連ウェブサイト上で「女性の役員・管理職登用に關する自主的行動計画」を公開しました。これは、企業における経営トップによるコミットメントとリーダーシップを社内外に示すために、自主的かつ積極的に女性管理職層増大に関する行動計画を策定・公表したものです。リコージャパンでは、女性の力を企業活動に活かす取り組みをさらに加速させていきます。



女性社員の意識変革研修

女性活躍推進施策の一環として、能力と意欲のある女性社員を早期に育成し上位ステージで活躍できるようにするために、2014年度はキャリア意識の変革を目的とした研修と、管理職候補の育成を目的とした研修を実施しました。特に管理職候補者育成を目的とした研修は、次世代リーダー候補人材を育成していくというミッションを上司が強く意識してマネジメントしていくための動機づけの場となっています。



女性管理職候補育成研修のグループワークの様子

研修ラインナップ

| | |
|-------|--------------------|
| 部長クラス | 女性管理職勉強会 & 交流会（計画） |
| 課長クラス | 女性管理職候補育成研修 |
| 係長クラス | 女性管理職候補育成研修 |
| 主任クラス | キャリアマーチャンダイジング研修 |
| 一般 | 女性社員向けフォーラム |

障がい者雇用に向けて

リコージャパンでは、「法定雇用率を達成するという遵法の観点のみならず、CSR、ダイバーシティ推進の観点から、継続的に推進する」というリコーグループ共通の考えのもと、さまざまな取り組みを行っています。

ハローワーク、特別支援学校をはじめとした各種学校、就労支援センターをはじめとした地域社会との連携、就職希望者を対象とした就業観に関する講演、ジョブマッチングを考慮した採用～入社後の定着・活躍支援を行っています。（2015年3月1日時点の雇用率2.01%）

● 障がい者への配慮

職場ぐるみの支援の一例として、必要機材の準備・建物内の環境設備の改築（車いす用トイレ、階段手すりの追加据え付け）、上司および支援機関による面談、同僚の理解促進などを行っています。個人の仕事における成長支援として社内外のカウンセラー・ジョブコーチによる定着・業務習得に関する支援、職場生活指導員の配置、入社後の定期的な面談などを実施しています。

● 障がい者インターンシップの実施

特別支援学校や就業支援センターよりインターンシップ生をお迎えし、ビジネスマナーやメール便の仕分け・配達、社内清掃、社内で使用している複合機の消耗品交換、パソコンによる資料作成、プレゼンテーションなどの実践を体験していただいています。

全社員へのダイバーシティ推進活動の情報発信

全国 368 拠点、約 2 万名の社員に情報を伝えるために、電子社内報を利用し、ダイバーシティ推進活動の情報発信をしています。多様な地域・職種で仕事をする社員が多い中、ロールモデルとなる社員を紹介する『スイッチ ON！の瞬間』には毎回多くのアクセスがあり、共感やヒントを得ているという社員のコメントが寄せられています。

スイッチ ON！の瞬間

迷った時こそ、
まずやってみる。
そして感謝の心が、
私の原動力。



ワークライフ・マネジメント

● 復職支援セミナー

育児休業から復職する社員、復職して 1 年未満の社員およそ 100 名が参加し、全国 20 拠点を UCS を接続して中継しテレビ会議として開催しました。仕事と家庭の両立についての講義と先輩社員講話、復職後に利用できる制度説明を実施し、復職後の不安軽減と前向きに仕事に取り組むための気持ちの切り替えができる機会となりました。



復職支援セミナー風景

● ファミリーデー (子ども参観日)

日々社員を支えるご家族に職場への理解を深めてもらい、また、職場の同僚のご家族との交流を通じ、それぞれの社員に大事な家庭があるということ組織全体で再認識し、改めてワークライフ・マネジメントについて考えるきっかけにしてもらおうと、本社事業所で企画している小・中学生対象の子ども参観日です。

2014 年度は全国事業所へ裾野が自然に広がりました。それぞれの地域で工夫したイベントで、社員と家族と会社のつながりを感じられ、一体感を共有できるよい機会になっています。



コピー機ってどんな仕組み？
支社長ってどんな人？
どんなところで働いているの？



● リフレッシュ休暇制度

一定の勤続年数を有する社員の心身のリフレッシュを図ることを目的とし、「特別休暇の付与と特別ボーナスの支給」を行う制度です。

対象：勤続10、15、20、25、30、35、40年の社員

報奨：特別ボーナス10万円/毎回

リフレッシュ休暇をとりました！

東京支社 鈴木健弘さん
勤続 10 年のリフレッシュ休暇をいただき妻とタヒチへ。心身ともにリフレッシュし、日常の業務に戻っても楽しく前向きに取り組むことができています。



● 育児支援制度

| | |
|------|---|
| 育児休業 | 利用実績 ・女性 286 名 ('14年度) ・男性 18 名 ('14年度) |
|------|---|

| | |
|---------|--|
| 育児短時間勤務 | 利用実績 ・女性 380 名 ('14年度) ・男性 4 名 ('14年度) |
|---------|--|

● 介護支援制度

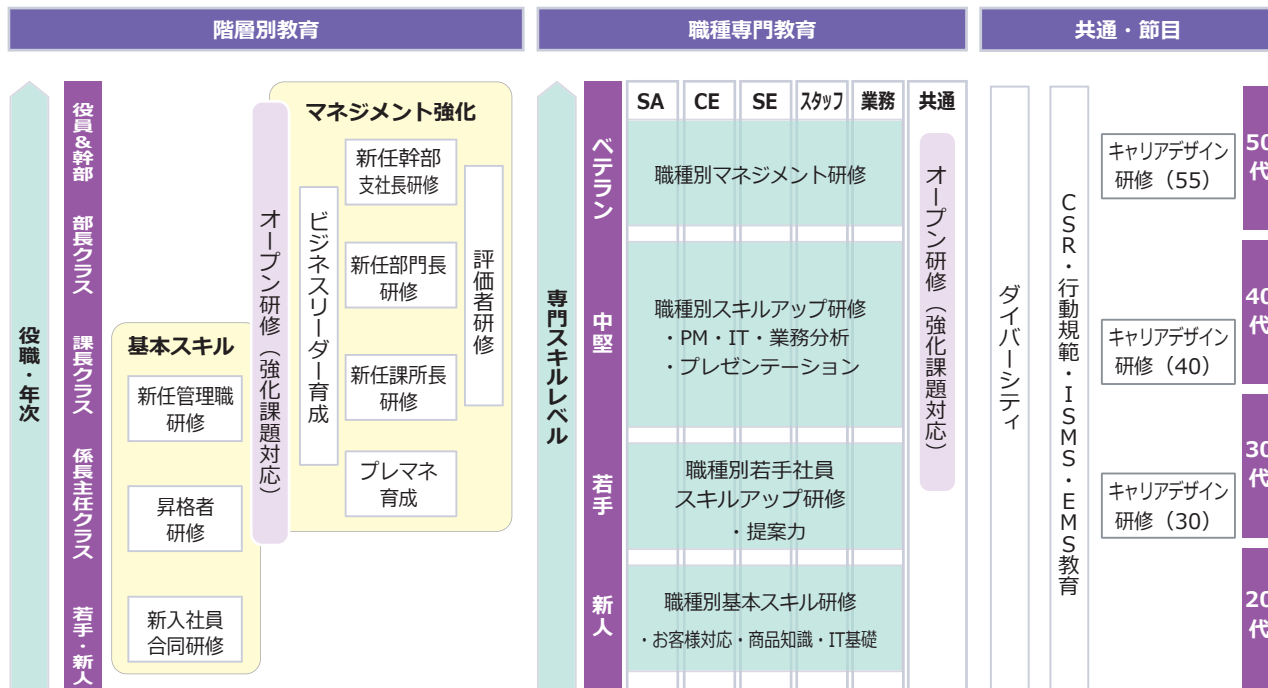
| | |
|------|--|
| 介護休業 | 利用実績 ・女性 1 名 ('14年度) ・男性 0 名 ('14年度) |
|------|--|

| | |
|---------|--|
| 介護短時間勤務 | 利用実績 ・女性 1 名 ('14年度) ・男性 2 名 ('14年度) |
|---------|--|

変化し続ける市場環境に対応して一人ひとりが自己成長できる環境を整備しています。

人材育成の基本方針

リコーグループ育成方針に沿って育成環境を構築していく上で重要なことは、変化し続ける市場環境にあっても、それに対応して成長し続けることができる、「強い育成風土を構築」することだと考えています。その軸は、「自ら育つ」という成長意欲を醸成できる育成環境の整備と、「現場で育てる」という風土にしていくための、事業成果+人材育成の両軸でマネジメントできる組織職・次世代経営幹部の育成と考え、私たちはこれに沿った教育体系を構築しています。



※教育体系図は、主なものだけを掲載しています。全コースは網羅されておりません。
 ※階層別教育の職位名やコース名は、一般的な表現に置き換えて掲載しています。
 ※SAはセールス、CEはカスタマーエンジニア、SEはシステムエンジニアの略です。

新入社員合同研修

リコージャパンでは、2014年度からスタートした国内リコーグループ合同開催による研修にて、リコーグループパーソンの基本、ビジネスパーソンの基本を新人全員が理解、習得していきます。特に、一人ひとりが日々の行動判断の拠りどころとすべき根源的な指針、リコーウェイに関しては、さまざまなワークをもとに、グループ共通の理念・価値観を深く理解・浸透させていきます。合同研修後は、リコージャパン独自研修として、職種ごとに基礎スキルを習得する専門教育を実施しています。



新入社員合同研修を受講して

- ・挨拶や連絡・時間管理・敬語の使い方など、ビジネスの基本を習得することができました。
- ・研修中は、「自分から発信していくこと」を意識して活動したことにより、以前よりも積極性が身についたと思います。
- ・お客様（相手）のことを考えて行動することを実践したことによって、普段の生活の中でも自分本位にならず、常に周囲に気を配る行動が出来るようになりました。
- ・失敗をしてもそのことを前向きに捉え、「失敗から学んだことをいかに次の活動に結びつけられるか」という姿勢を大事にするようになりました。



組織開発研修

リコージャパンは、「組織と社員のエネルギーを高め、顧客接点力の強化を通じて、事業戦略の遂行を加速させるリーダーを育てる」ことを狙いとして、社内の組織職(マネージャー)を対象に「組織開発研修」を実施しています。「組織開発」とは、会社を社会の変化に合った形でつくり変え続けること。そのためには、自身が気づき、自ら組織を変化させていくエネルギーを高めていくマネジメントが求められています。この研修には、組織・人が高いエネルギーを持って働ける環境を創るためのヒントが隠されています。2014年8月～2015年3月で、40コース・1,816名のマネージャーが参加しました。



組織開発研修は、自己紹介から始まります。参加者約50名全員と挨拶し、コミュニケーションのきっかけをつくります。



個人と組織のエネルギーを上げるために何をすればよいのか、グループ内で真剣な意見交換が行われています。



各グループから出たさまざまなアイデアは、全員が共有できるよう発表します。「なるほど」「これはいい」など、すぐにでも組織へ展開できるものがたくさん出ています。



研修でコミュニケーションを図ったメンバーへ「ありがとう」のメッセージを渡して、お互いを称え合います。「今後の好事例も共有しましょう」と固く約束しました。

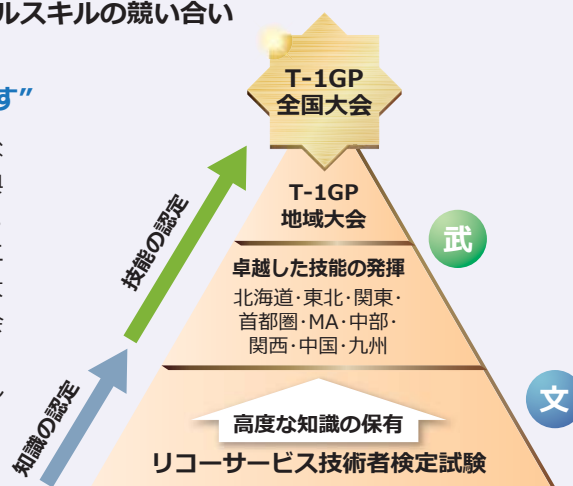
参加したマネージャーの声

- ・部下それぞれの特性に応じたコミュニケーション、指導が必要だと感じた。
- ・組織のエネルギーを高めるためのマネジメントは大切であり、実践したい。
- ・部下に結果だけを求めている。うまくいっていることを確認し、声を掛けることが大切だと思った。

● サービスのプロフェッショナル集団によるテクニカルスキルの競い合い

**CE 一人ひとりの確かな知識と高い技術力が
“お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出します”**

年に1回、“技術”を誇れるプロ集団づくりに向け、高度な知識と卓越した技術の“文武両道”で競い合う技術の祭典「RICOH JAPAN T-1 Grand-Prix (GP)」を開催しています。ご販売店を含む約5,600名のCEの中から、高度なテクニカルナレッジを持つCEを選抜し、全国9地域にて地域大会を開催しました。そして2014年度全国大会で各地域大会の上位成績優秀者計41名にて、機器修復技術、報告技術、提案技術を競い合いました。CEの優れたテクニカルスキルを賞賛することが、技術力の醸成、CS、ES向上につながっています。



企業市民としての役割を自覚し、地域社会の一員として、積極的にさまざまな社会貢献活動を展開しています。

リコーグループでは、社会が抱えるさまざまな課題に真摯に向き合い、社会ともに成長する企業を目指してグループ・グローバルの社会貢献基本方針を設定し、共通コンセプトに基づき、各グループ会社の強みや人材・リソースを活かした社会貢献活動に取り組んでいます。

リコーグループ社会貢献基本方針

リコーグループは、「良き企業市民」として、国または地域の文化や習慣を尊重し、志を同じくする人々とのパートナーシップのもと、会社と社員が協力し合い、地球・社会の持続的発展に貢献します。世界各国・地域における持続可能な社会実現のために、重点分野を定め、各地で活動を行います。



地球市民の使命として、自らの責任で地球環境保全に取り組んでいます。環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し高めていくための生物多様性保全にも取り組んでいます。
(活動内容は、p23～p24を参照)。



地域社会との共存・共生、そして共に発展することを目指し、コミュニティのニーズに即した社会貢献活動に取り組んでいます。実施にあたっては、国際社会が抱える課題である「ミレニアム開発目標（MDGs）」「社会（ステークホルダー）との協働」「自社の事業成長にもつながる取り組み」を重視しています。



リコーグループが提供する体験・活動プログラムに触れた子どもたちが、企業や職業に関心を持って成長し、将来、夢を持って社会へ踏み出せる環境を創る。それが企業と社会の持続的発展につながる“夢のサイクル”だと考えています。

教育分野での貢献

● 中学3年生を対象にマナー教室を実施

東京都の台東区立御徒町台東中学校で「基本のマナー～社会人に求められるもの～」と題し3年生134名を対象に講演会を実施しました。御徒町台東中学校へは2005年より職場体験の受け入れなど、社会貢献活動の次世代育成の一環として継続して支援を行っています。高校受験や就職、昇格などにも面接が重要視されている今、生徒たちが、挨拶や身だしなみの大切さを再認識して身につけ、将来に向けて役立ててもらいたいという気持ちで開催しました。



● 職場体験

地域の中学生の職場体験を受け入れました。「どんな気持ちで仕事をしていますか」「この仕事を通して、やりがいを感じたことは何ですか」といった質問に答えたり、オフィスでの省エネやゴミの分別などの取り組みを実際に見てもらいました。ある事業所では、ビジネスマナーについてやカラーコピーの仕組み、手話の学習などをしました。生徒からは「挨拶や返事の大切さを知ることができました」といった感謝の手紙が届きました。



● 紙アプリで子どもたちの思考力／創造力を養う



「紙アプリ」とはリコーの画像解析技術を応用して開発された“絵を描くこと”を楽しむレクリエーションソフトの総称です。2014年8月8日～10日開催された、『2014 PC Conference』で、大妻女子大学社会情報学部 生田 茂教授とリコー／リコー・ジャパンは、共同で紙アプリの実践事例に関する講演、及びワークショップを行いました。

これは小学校での紙アプリの授業・展示会が大変好評であったため、この学会で共同にてご紹介いただくことになったものです。

また、会場ではワークショップの参加者に実際に自分の描いた絵が動き出すという、命が吹き込まれるような感覚を体感していただきました。

生田教授からは障がいを持つお子さんへの教育効果も期待できることが紹介されています。現在、全国で展開しているリコー・サイエンスキャラバンのプログラムの一部として、また教育現場での活用を今後も進めていきます。



紙アプリの教育現場での活用について

教育における地域連携活動の一層の推進と発展を図ることを目的として、「地域連携プロジェクト」を主宰しています。この中で、リコーの「紙アプリ」やゼミの学生が制作した教材を使って、「学校を美術館・博物館に変身！」させる活動を展開しています。これは、子どもたちに自分の描いた絵が3DのCG画面の中で動き回るといった体験をしてもらうものです。

紙アプリはお絵かきの上手・下手に関係なく、子どもたちの積極的姿勢、想像力の強化、言語活動の活発化などを図ることのできる新しい教育ツールとして、高く評価しています。



大妻女子大学社会情報学部 生田 茂教授

● どさんこ☆子ども全道サミット

2014年10月25日、北海道教育委員会の主催で全道15会場にて“いじめ”をテーマに子どもたちが話し合う、『平成26年度どさんこ☆子ども全道サミット』が行われました。北海道事業本部では、道内15会場と海外(ブリュッセル)を同時中継するためのUCS※とプロジェクターを提供し、社員がスタッフとして運営支援を行いました。当日は、全会場で約470名(学校関係者も含めると750名)にのぼる小・中・高校生が参加し、各会場では「いじめられている人の周りの人は何が出来るか」をテーマに積極的なやりとりが行われました。

※UCS : Unified Communication System



● リコー・サイエンスキャラバン



子どもたちに科学の楽しさを体験してもらう「コピー機になつてみよう！」や「熱闘！紙バトラー」「激走！紙レーサー」などのプログラムを、全国で展開しています。2014年度は「カラーコピーの秘密をさぐれ！」と「デジタルカメラとあそぼう！」が新プログラムに加わりました。リピートの出展依頼に加えて新規のご要望も多数あり、46回の開催を通じて、延べ24,042名にのぼる過去最高の参加がありました。

また、これらのプログラムには、延べ697名のリコーグループ各社の社員が、運営スタッフとしてボランティア参加しました。



社会貢献活動

企業市民としての役割を自覚し、地域社会の一員として、積極的にさまざまな社会貢献活動を展開しています。

全国に広がる社会貢献の輪

● 献血

東北事業本部 宮城支社 仙台東事業所 では、2003 年から 10 年以上続く団体献血活動に対して、仙台市長より「保健・医療表彰（献血推進）」を受賞しました。献血サポーターに登録している地域では、定期的な献血を実施。さらに本社では献血の日を「社会貢献デー」として、就労支援施設「あしなみ ZIP」のチョコレートブラウニーの販売会を開催。施設の利用者の方が接客販売できる機会を作っており、毎回好評です。



仙台東事業所が「保健・医療表彰」を受賞



献血サポーターに登録している岡山支社



就労支援施設のお菓子販売会

● 地域清掃やチャリティイベント

全国の各事業所では、街の美化をはじめとする清掃活動を実施しており、地域の各種チャリティやボランティアなどにも参加しています。



埼玉

埼玉事業所周りの清掃活動



長野

アファンの森財団へアルミ缶・古紙収益金寄贈



北海道

北海道 CSR 研究会 雪かきバスツアー



大阪

関西ラグビー部小学生向けラグビー教室



愛知

久屋大通公園 郷土美化合同奉仕活動



宮城

東北風土マラソンでボランティア



岡山

岡山県環境学習センター「アスエコ」出展



栃木

新 4 号国道問屋町周辺の清掃活動



熊本

山鹿地区 豊前街道の清掃



広島

広島八丁堀事業所周辺清掃



奈良

クリーンアップならキャンペーン



東京

田町事業所周りの清掃活動

リコー社会貢献クラブ・FreeWill



リコー社会貢献クラブ・FreeWill は、1999年に発足した社員参加型の支援組織です。一人ひとりの浄財を、より多数の参加と継続によって、全体として大きな資金として社会貢献活動に資することを狙いとし、会員社員が毎月の給与と賞与の端数（給与の100円未満、賞与の1,000円未満）を拠出。集まった資金は、さまざまな分野で社会的課題解決のために取り組みを行っているNPOなどの支援に役立てています。2015年3月末時点で493団体、総額1億5千万円に及ぶ寄付をしています。



FreeWill イメージキャラクター 愛の人くん

● 桜ライン311

「認定NPO法人桜ライン 311」が実施している桜の苗の植樹活動に計2回37名の会員が参加しました。この植樹活動は「津波によって尊い命が失われた悲劇を繰り返さないために、陸前高田市内の津波到達点に桜を植樹し、次の世代に伝承していくこと」を目的としています。また、この活動のドキュメンタリー映画『あの街に桜が咲けば』の監督を招いた上映会を社員向けに開催し2会場で133名が参加しました。



同じ志を持った全国のリコーグループ会員同士で、新しいつながりができました。この活動をきっかけに、東北にボランティアで通うようになった人もいます



監督の講演に加え、植樹活動に参加した会員の報告会もあり、災害に対する備えについて振り返る機会になった上映会

● バングラデシュの子どもたちを支援

バングラデシュの子どもたちに、ベンガル語の翻訳シールを貼った絵本を届ける「世界に届け！FreeWill 絵本プロジェクト」は、2014年度はバングラデシュ・チッタゴンにある小学校に寄贈するため、403名のFreeWill会員が参加しました。神奈川県川崎第二事業所、大阪府の谷町・今橋・江坂事業所では、カレースパイス2袋購入でバングラデシュの小学生1人が1カ月学校に通う支援につながる「買う&知るボランティア(スパイスの社内販売会)」を開催し、開始30分足らずで完売するほど好評でした。



バングラデシュの子どもが、日本から届いた絵本を読んでいる様子。

● 切手収集ボランティア

日常的に気軽にできる活動として、使用済み切手やはがきなどを収集し、年2回支援先団体へ寄贈しています。2014年度は総額19,450円分が集まりました。



ご販売店で組織される「北海道リコー会」は、この活動に賛同していただき、会員店の皆さんが集めた2kgの切手を寄贈いただきました

● 寄付支援

2014年度は41件（うちリコー・ジャパンは11件）の団体に寄付支援を実施しました。会員からの拠出金に加えて、会社からのマッチングギフトを上乘せした一律30万円が寄付されました。



生活困窮者を支援するフードバンクを運営しているNPO法人セカンドハーベスト・ジャパン代表のマクジルトン・チャールズ様へ、支援金目録を贈呈しました

結成15周年記念プロジェクト

FreeWill 会員がヨルダンを訪問



「今回のヨルダン活動で最も心に残ったのは、争いは別の衝突や問題しか生み出さないということです」

首都圏事業本部 マーケティングセンター 渡辺 亜衣さん

リコー社会貢献クラブ・FreeWillの結成15周年を記念し、NPO法人ジェンを通じて、水不足の解消、劣悪な衛生環境の改善などを目的とした、水・衛生設備の設置と補修、子どもの衛生意識の向上を図るためのイベント開催支援に500万円を寄付しました。この記念プロジェクトの一環として、支援効果の確認と子どもたちとの交流を目的とした現地交流会を実施。リコー・ジャパンの2名を含む全9名のFreeWill会員がヨルダンを訪問しました。現地では、キャンプ外で暮らしているシリア難民の子どもたちに、4つの小学校で折り紙教室を開催し、FreeWill会員から集まった3,533個の折り紙作品を届けました。

東日本大震災の風化を防ぐとともに、事業の強みをいかして復興支援活動を継続していきます。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年の月日が経ちました。2014年度の社員ボランティアでは、これまでの作業中心の活動ではなく、コミュニティに入って魅力を探索、発信するという内容に変更。被災3県の産業復興を応援する物産展では一般の方にも購入していただいて震災の風化を防ぐ工夫と、売り上げの一部を震災遺児・孤児に寄付することでさらなるお役立ちを行っています。防災意識を高める震災体験メッセージセミナーは、地域の学校等と連携して、より社会へ広げることが心掛けて実施しました。今後はNPOや大学などと協働で、自社の事業や強みを活かしながら社会課題の解決に取り組んでいきます。

継続的な東北復興支援

● 東北復興応援ボランティアチーム

福島第一原発20km圏内で初めて避難指示が解除された、福島県田村市都路町（みやこじまち）。毎回十数名のリコージャパン社員が現地に赴き、住民の皆さんと一緒に地域の自然・行事・食文化などを介した交流を実施し、地域コミュニティの再生を支援してきました。活動の集大成として「都路カレンダー2015」を制作し、都路の住民全戸に配布しました。「カレンダーにさせていただいたことで、都路は本当にいいところだとあらためて思いました」との声を、地元はもちろん、都路から離れて暮らす方からもいただき、都路の魅力を再認識してもらうことができました。2015年度は、「住民」と現地NPO法人の中に結成された「田村市復興応援隊」「リコージャパン」の3者が、行政と協働して、明日を担う子どもたちの育成と、コミュニティの活性化を図っていきます。



住民ガイドと一緒に里山の魅力を探索



地元の愛都路（めとろ）の会のお母さんたちと料理づくり



住民の皆さんと田村市復興応援隊、リコージャパンで協議



郵便局にもカレンダーを配布



都路カレンダー2015

3.11東北復興応援販売会

2015年3月11日、東北復興応援販売会を本社で開催しました。販売開始20分で売り切れた都路のお母さん手づくりの猫のマスクットをはじめ、「ふくしまオーガニックコットン」のハンカチ、陸前高田の障がい者の方がパッケージした、ガーナの児童労働撲滅にもつながるチョコレートなどを販売。社員が商品について知り、手に取ることで復興応援の思いを新たにしました。



●いわきおてんとSUN企業組合（ふくしまオーガニックコットン）菅野様より
この度は、ハンカチの完売と追加のご注文をいただきまして誠にありがとうございました。購入してくださった方の感想を読ませていただいて、社員の皆さまに被災地への思いがしっかりと届いているのを感じて、私たちも「嬉しいね、嬉しいね！」としばらく感動の波が治まりませんでした。



オリジナルラッピングのハンカチ

● 東北復興応援物産展

リコーグループ各事業所で、被災3県の物産展を定期的に開催しています。一部の地域では展示会へ来場されたお客様に購入いただけるようにしました。累計で22回開催し、総売り上げは1千万円以上のほります。2014年度より売上金額の一部を被災3県の震災遺児・孤児の基金へ寄付しています。



千葉支社が入居するワールドビジネスガーデンで開催

● 震災体験を伝える取り組み



東北地区社員の実体験に基づいて、教訓や次への備えの情報を集めた小冊子「真の気づき・教訓」は、2012年の発行以来多くの方にご活用いただいています。2014年7月に、次への備えを加えた改訂版を発行し、防災の大切さを伝えています。全国の自治体や学校などでのセミナーは、累計40回以上を数えます。



震災体験メッセージセミナー

事業を通じた復興支援

● 相馬市で全天球カメラを使ってマップ作り

福島県相馬市で活動している NPO 法人相馬はらがま朝市クラブの復興支援センター MIRAI と福島大学、リコー・ジャパンが復興のための基礎データ（事業所状況）の把握をマッピング（地図作り）で支援しました。東日本大震災で被災した相馬市は、事業所や商店の開業状況の詳細が不明な状態が続き、住民や市外から訪れる方々が困っていました。これを目に見える形にするために、地図上に事業所・商店の開業状況をプロットし、さらに外観と内観の写真を見て具体的にイメージしやすいようにしました。リコー・ジャパンは人的支援と全天球カメラ RICOH THETA（内観撮影）、デジタルカメラ（外観撮影）活用で支援しました。また事業所・商店への訪問時に、事業主・商店主の方に被災についての事業状況やご意見を伺うアンケートをとり、報告書にまとめました。この取り組みのためのチラシ作成や、福島大学・大学生の ID カードを、リコー製オンデマンドプリンティング・RICOH Pro C901S で出力支援しました。



全天球カメラを操作する学生



マッピングに参加した福島大生

● 第3回国連防災世界会議に MICE 関連のソリューションを提供

仙台市で開催された国際的な防災イベントの運営を、リコーグループの技術力・商品力と現場での機動力でサポートしました。本体会議が開催された仙台国際センターにはドキュメントサービスを提供。カラー複合機やカラーレーザープリンターをはじめ、環境調和型カラー複合機や BCP※対応のバッテリー搭載型プリンター複合機など、合わせて70台を設置。会期中はカスタマーエンジニアが会場に常駐して保守サポートを実施し、会議の円滑な運営に貢献しました。また、同時開催されたパブリック・フォーラム「東北防災・復興パビリオン」には「RICOH Make A Wish デジタルサイネージ」を提供。海外から国際会議に参加された方や家族連れ、学生など、来場した方々の防災や復興への思いをサイネージで共有し、イベントを盛り上げました。

※MICE：Meeting Incentive Convention Exhibition/Event
 ※BCP：Business Continuity Plan

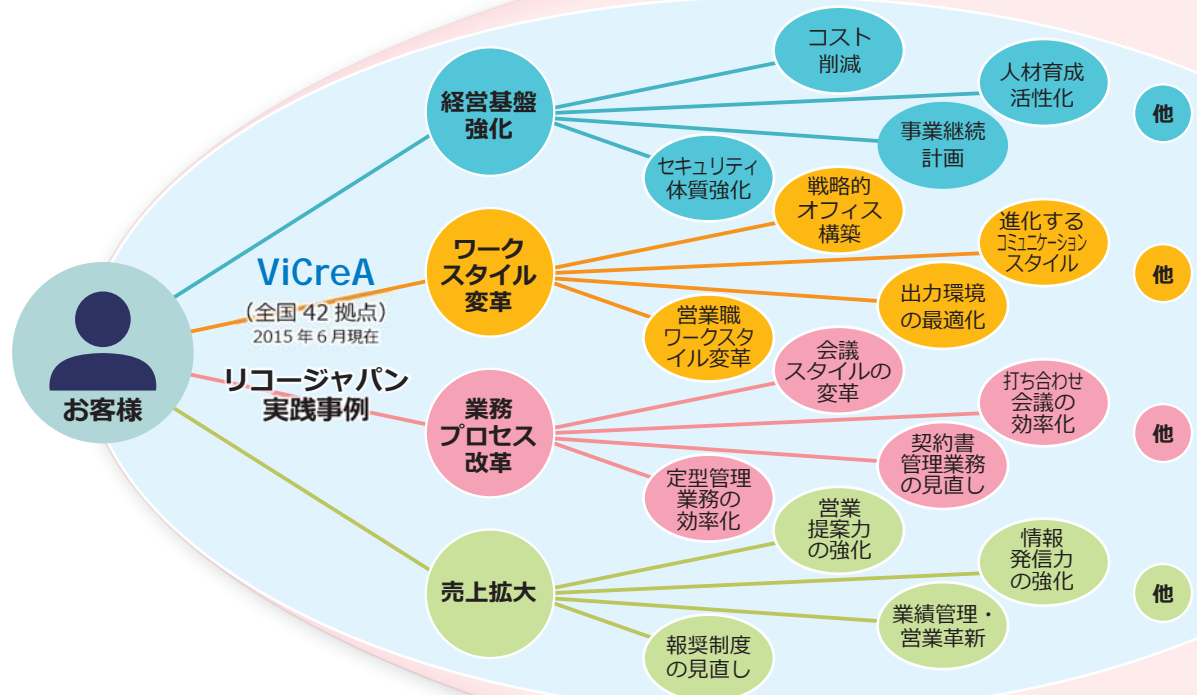


ご紹介

ViCreA・CIS

ViCreA・CISでは、社内実践事例を通してお客様の企業価値向上へのお役立ちを行っています。

CSR活動は自社のみで行うだけでなく、他の会社や社会にも広げることで社会に大きな変革をもたらします。私たちがお客様に伝え、広げることで、その先のお客様にまで届く価値になります。同様に、商品やソリューションを提供してお役立ちすることに加えて、私たちのビジネス活動で培ったノウハウ、社内実践事例を広くお客様と共有し、価値提供へつなげることを心がけています。



LiveOffice 『ViCreA』 (ヴィクレア)

ViCreA (ヴィクレア) は、私たちのワークスタイル変革へのチャレンジをご体感いただく空間、「LiveOffice」です。社内実践事例のご紹介を通して、お客様の価値創造へのお役立ちをさせていただきます。自ら実践した内容だからこそ、成功事例はもちろんのこと、失敗談も含めた生のノウハウを、お客様に自信を持ってご提供することができると考えています。全国各地のViCreAで、お客様のご来場をお待ちしています。



ユニバーサルレイアウト

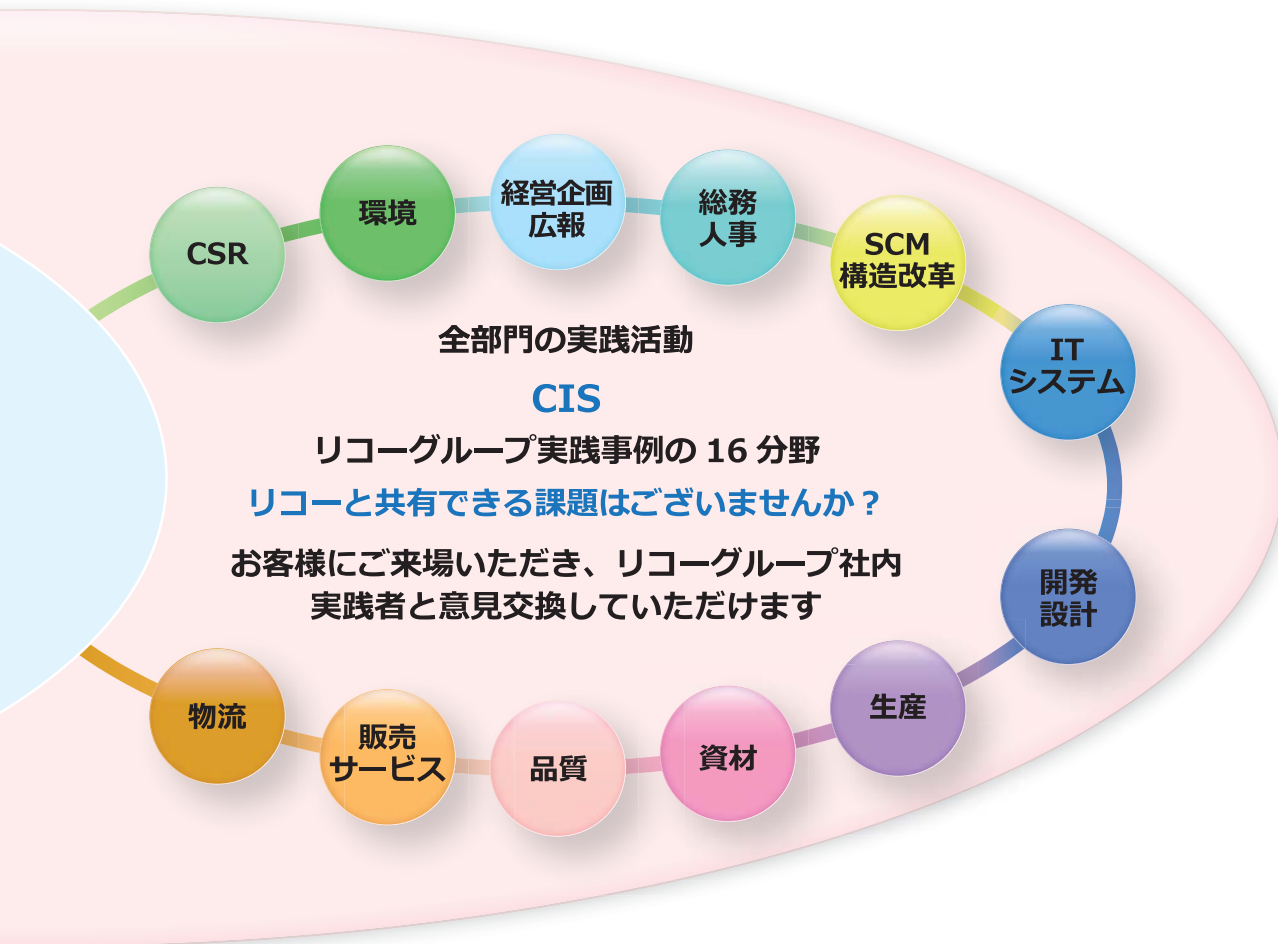


コミュニケーションスペース



本報告書でご紹介した取り組み以外に、こんな声にもお応えいたします。

- ・社員の働き方を変えてワークライフバランスを図りたい
 - ・情報セキュリティを強化するにはどうしたらいいのか？
 - ・来るべき災害に備えてBCPの準備をしておきたい
- etc.



CIS Customer Innovation Support service

リコージャパンは、商品の「性能」や「体制」でお客様の利便性を向上してまいりました。今後も、他社での導入事例などのノウハウの提供に加え、自社で「実践」した“変革への道”をセミナー、工場見学、ベンチマーキングでご紹介し、ともに経営課題を解決できる価値提供により、「信頼されるリコー」になることを目指しています。CISは、リコーグループの「ノウハウ」をもとにして、お客様の経営課題をともに解決するサービスです。

※お気軽に当社担当営業にご相談ください。



来場のお客様経営課題 Best 5 リコージャパンが提供できるサービス・ソリューション

- | | | |
|-----------------|----------------------------|---|
| 1位 人材育成 | ▷ 教育受託（研修サービス） eラーニング人材育成 | 他 |
| 2位 資材調達コストの削減 | ▷ 業務コスト削減支援 認定部品構築業務コンサル | 他 |
| 3位 グローバル/I T 統合 | ▷ IT資産管理調査支援 各国の経営情報の可視化支援 | 他 |
| 4位 業務改革/I T 活用 | ▷ 業務プロセス可視化支援 業務IT化支援 | 他 |
| 5位 生産効率の向上 | ▷ 工程改善コンサル 5S改善支援コンサル | 他 |



ご紹介

ViCreA・CIS

私たちは、課題解決のためのさまざまな実践事例を、お客様と共有したいと考えています。

LiveOffice『ViCreA』

Value innovation Creative Area

ViCreA とは、お客様に最適なワークスタイルをお客様とともに考える空間、LiveOffice です。私たちが実際に働いているオフィスをご覧くださいながら、日々の改革・改善事例をご紹介します。

ViCreAでご紹介している実践内容

経営基盤強化

持続的な成長に向けた揺るぎない経営基盤づくり



- 5S 活動の徹底
- セキュリティ強化
- コンプライアンス強化
- 事業継続計画
- 環境負荷削減
- クリアデスク・クリアスクリーンの徹底
- IC カード（社員証）による入退室管理・認証印刷
- 毎月のセルフチェックによる社員教育の実施
- 社員安否確認システムの導入
- エコドライブ 10 の推進による環境配慮活動

ワークスタイル変革

進化するIT環境に対応し、新しいワークスタイルへの変革を実現する



- 働きやすいオフィスづくり
- 営業職直行直帰型ワークスタイルへの変革
- 出力環境の最適化
- ユニバーサルレイアウトの導入によるマネジメント変革
- 職種に合わせたデスクスタイルの導入
- 営業職の直行直帰ワークスタイル変革へのチャレンジ
- 出力環境の最適化による機器台数の削減

業務プロセス改革

IT活用・業務の可視化で、より効率のよい業務プロセスを目指す



- 通信業務の改善
- グループウェア活用による業務効率向上
- 会議スタイルの変革
- 直通内線の活用促進による取り次ぎ業務軽減と集中化
- 遠隔会議システム活用による出張経費、移動時間の削減
- インタラクティブホワイトボード活用による打ち合わせ効率 UP
- 会議スタイルの見直しによる業務効率向上

売上拡大

社内を活性化しお客様への価値提供力を強化する



- 営業提案力の強化
- 報奨制度の見直し
- 人材育成環境の整備
- マネジメントプロセス改革
- 情報発信力の強化
- タブレット端末を活用した営業提案力強化
- 社内報奨制度改革によるモチベーション UP
- ダイバーシティ推進とワークライフ・マネジメント
- 経営情報の可視化による集計・分析業務効率の向上
- デジタルサイネージによる社内・社外への情報発信

ViCreA ご案内の流れ

プレゼンテーション

オフィス見学

ディスカッション

共有させていただいた内容をもとに、お客様の課題解決へのご提案、さらなる情報提供を実施いたします。

ViCreA 見学について

- ViCreA 見学は事前予約制です。当社担当営業まで、お気軽にお申し付けください。
- リコージャパン公式 Web サイトからもお申し込みいただけます。 <http://www.ricoh.co.jp/sales/liveoffice/>



ViCreA にご来場いただいたお客様の声

- ・なかなか他社の事務所見学は体験できないので良い機会をいただきありがとうございました。
- ・想像を超えた濃い内容でした。すべてを取り入れるのは難しいですが、実際にチャレンジする際に、ご相談させていただきます。
- ・全員での取り組み、5Sが徹底されているところ、社員の皆様のご挨拶など、たいへん刺激になりました。



Customer Innovation Support service

リコーが取り組む社内実践事例のご紹介

RICOH
imagine. change.

リコーグループ社内実践事例カタログ 2015

リコーグループ各社が培ってきた社内実践ノウハウを、お客様の課題解決や企業体質強化にご活用ください。16 の分野から、総計 69 件の実践事例をご紹介します。

【社内実践事例一覧】

| 課題 | No. | ページ | お客様と共有できる課題 | リコー実践事例 |
|--------------|------|-----|---------------------------|--------------------------------|
| SCM 構造改善 P25 | E-01 | F29 | グローバルで実施したQCD推進改善活動 | 顧客満足と利益向上の両立のためのグローバルSCM構造改善活動 |
| | E-02 | F30 | QDV（グローバル品質可視化ツール） | 在庫の可視化による、品質の向上と改善の仕組み作り |
| | E-03 | F31 | 部品には不要な検査・検査項目の削減に関する取り組み | サイクリウム削減による、在庫の削減と、基本保証止 |
| | E-04 | F32 | 工場キックオフと標準作業 | 迅速な標準化と標準化による、顧客満足向上 |
| | E-05 | F33 | 消費電力削減と省エネの取り組み | 多品目多量に対応した、生産の効率化・改善化 |
| CSR P27 | A-01 | F8 | ISO-14001の取り組み | 社会からの信頼と企業価値向上を目指す取り組み |
| | A-02 | F9 | 環境負荷低減の取り組み | 社会的責任の果たし企業価値向上を目指す取り組み |
| | A-03 | F10 | 品質管理活動の取り組み | 社会的責任の果たし企業価値向上を目指す取り組み |
| | A-04 | F11 | 内部統制の取り組み | 「内部統制の強化」による「高品質・高信頼・高効率」の実現 |
| | A-05 | F12 | グローバルデザイン活動 | 「多国籍・多文化」に対応する企業価値向上を目指す取り組み |
| 品質 P15 | B-01 | F16 | ISO-9001の取り組み | 2005年品質管理規格（ISO9001）の導入による品質向上 |
| | B-02 | F17 | 品質管理活動の取り組み | 品質管理活動の推進による品質向上 |
| | B-03 | F18 | 品質管理活動の取り組み | 品質管理活動の推進による品質向上 |
| | B-04 | F19 | 品質管理活動の取り組み | 品質管理活動の推進による品質向上 |
| | B-05 | F20 | 品質管理活動の取り組み | 品質管理活動の推進による品質向上 |
| 経営改善 P19 | C-01 | F21 | プロセス改善 | 業務プロセスの改善による効率化 |
| | C-02 | F22 | 人材育成 | 人材育成による企業価値向上 |
| | C-03 | F23 | 業務改善 | 業務改善による効率化 |
| | C-04 | F24 | 業務改善 | 業務改善による効率化 |
| | C-05 | F25 | 業務改善 | 業務改善による効率化 |
| 経営人事 P23 | D-01 | F26 | 人材育成 | 人材育成による企業価値向上 |
| | D-02 | F27 | 人材育成 | 人材育成による企業価値向上 |
| | D-03 | F28 | 人材育成 | 人材育成による企業価値向上 |
| | D-04 | F29 | 人材育成 | 人材育成による企業価値向上 |
| | D-05 | F30 | 人材育成 | 人材育成による企業価値向上 |

お客様が抱える経営課題は、私たちリコーの経営課題でもありました。

『リコーが取り組む社内実践事例のご紹介』の詳細は <http://www.ricoh.co.jp/solution/rpp/index.html>

お客様事例のご紹介

A 社様 事業内容：計量器、医療機械、理科学機械、光学機械などの製造・販売

きっかけ／お客様からのご相談

- 商品ありきではなく、リコーの実践事例をもとにした業務改善のアドバイスがほしい。
- リコーの改善事例がヒントになると思うので、工場見学やベンチマーキングをさせてほしい。

お客様が認識されている課題

自ら考え行動する人材づくり

ムリ・ムラ・ムダの徹底排除

お客様が改善したいこと

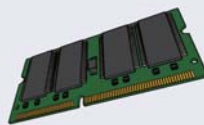
生産現場のQCDの可視化

- 資材の入庫状況や工程の進捗をリアルタイムで把握したい。



部品調達の効率化

- 複数拠点での5～6,000点/日の部品受入れ状況をリアルタイムで把握したい。



お客様にご紹介・ご提案したこと

- リコーインダストリー埼玉事業所、勝田事業所へのベンチマーキング

埼玉事業所



勝田事業所



- お客様の工場訪問と、製造管理部門のお困りごとなどをお伺い
- 現場のQCD可視化による生産性向上をご提案
- 職場診断実施と結果のご報告、併せて改善活動のご提案

コンサル支援による効果

- 工程改善（ムダの排除）… 生産リードタイム 20% 削減
- 生産現場のQCD可視化による問題点の顕在化が可能に
- 物流プロセスの最適化 … 保管スペース 25% 削減

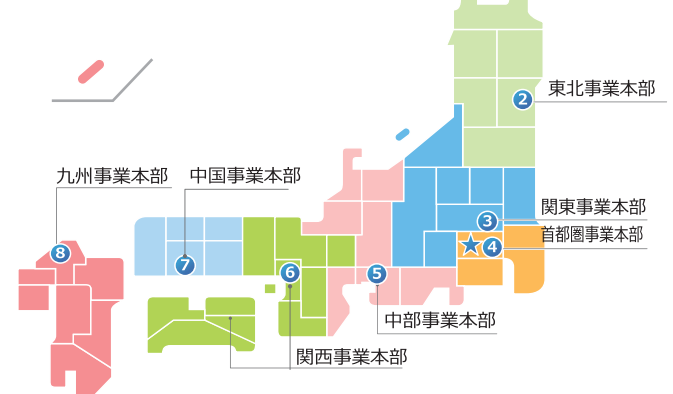
お客様の声

- 課題解決のパートナーとして、トータル的な提案をしてほしい。
- 今回の現場改善の結果を踏まえて上流部門を巻き込んでいくアプローチをしていきたい。

主要事業所一覧

★ 本社事業所

〒105-8503
東京都港区芝 3-8-2
芝公園ファーストビル



本部系事業所

| | | |
|-------------|-----------|-------------------|
| ソリューション技術本部 | 〒104-6042 | 東京都中央区晴海 1-8-10 |
| OR事業本部 | 〒103-0016 | 東京都中央区日本橋小網町 19-5 |
| BP事業本部 | 〒105-8503 | 東京都港区芝 3-8-2 |
| パートナー事業本部 | 〒108-0023 | 東京都港区芝浦 3-4-1 |
| PPS事業本部 | 〒108-0023 | 東京都港区芝浦4-2-8 |
| MA事業本部 | 〒108-0023 | 東京都港区芝浦 3-4-1 |
| ① 北海道事業本部 | 〒060-0807 | 札幌市北区北7条西 2-8-1 |
| ② 東北事業本部 | 〒980-0022 | 仙台市青葉区五橋 1-5-3 |
| ③ 関東事業本部 | 〒331-0812 | さいたま市北区宮原町 2-45-1 |
| ④ 首都圏事業本部 | 〒104-0045 | 東京都中央区築地 5-6-10 |
| ⑤ 中部事業本部 | 〒451-6010 | 名古屋市西区牛島町 6-1 |
| ⑥ 関西事業本部 | 〒540-0012 | 大阪市中央区谷町 4-11-6 |
| ⑦ 中国事業本部 | 〒730-0013 | 広島市中区八丁堀 3-33 |
| ⑧ 九州事業本部 | 〒810-0004 | 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 |

| | | | | |
|------------|-----------|-----------|--------------------|------------------------|
| 北海道 | 札幌北事業所 | 〒060-0807 | 札幌市北区北7条西 2-8-1 | |
| | 白石事業所 | 〒004-0041 | 札幌市厚別区大谷地東 2-4-30 | |
| | 札幌南西事業所 | 〒060-0007 | 札幌市中央区北7条西 13-9-1 | |
| | 北16条事業所 | 〒065-0016 | 札幌市東区北16条東 17-3-23 | |
| | 旭川事業所 | 〒070-0023 | 旭川市東3条 5-18-2 | |
| | 北見事業所 | 〒090-0802 | 北見市田端町 71-8 | |
| | 留萌事業所 | 〒077-0042 | 留萌市開運町 1-3-24 | |
| | 稚内事業所 | 〒097-0001 | 稚内市末広 5-35-1 | |
| | 函館事業所 | 〒041-0851 | 函館市本通1-22-22 | |
| | 苫小牧事業所 | 〒053-0031 | 苫小牧市春日町 1-3-3 | |
| 青森 | 青森支社 | 〒030-0113 | 青森市第二問屋町 3-5-37 | |
| | 八戸事業所 | 〒039-1165 | 八戸市石堂 3-16-2 | |
| | 弘前事業所 | 〒036-8097 | 弘前市大字稲田 2-1-6 | |
| | 岩手 | 岩手支社 | 〒020-0866 | 盛岡市本宮 3-36-45 |
| | | 花北事業所 | 〒024-0051 | 北上市相去町平林 21-209 |
| | | 奥州事業所 | 〒023-0003 | 奥州市水沢区佐倉河字川原田 85-1 |
| | | 一関事業所 | 〒021-0863 | 一関市南町 2-15 |
| | | 釜石事業所 | 〒026-0034 | 釜石市中妻町 2-14-6 |
| | | 宮古事業所 | 〒027-0048 | 宮古市板屋 2-1-6 |
| | | 宮城 | 宮城支社 | 〒980-0022 |
| 仙台東事業所 | | | 〒984-0042 | 仙台市若林区大和町 3-15-2 |
| 仙台北事業所 | | | 〒981-3133 | 仙台市泉区泉中央 2-9-2 |
| 古川事業所 | | | 〒989-6223 | 大崎市古川字竹ノ内 196-1 |
| 石巻事業所 | 〒986-0865 | | 石巻市丸井戸 2-4-4 | |
| 仙南事業所 | 〒989-2431 | | 若沼市相原 3-3-12 | |
| 秋田 | 秋田支社 | | 〒010-0061 | 秋田市卸町 4-9-1 |
| | 大館事業所 | | 〒017-0864 | 大館市根下戸新町 207-1 |
| | 能代事業所 | | 〒016-0884 | 能代市卸町 4-2 |
| | 横手事業所 | | 〒013-0061 | 横手市横手町字大関越 90-2 |
| | 大仙事業所 | 〒014-0001 | 大仙市花館字下殿屋敷 26-2 | |
| | 本荘事業所 | 〒015-0852 | 由利本荘市一番壱 88-1 | |
| | 山形 | 山形支社 | 〒990-0023 | 山形市松波 1-14-14 |
| | | 庄内事業所 | 〒997-1316 | 東田川郡三川町大字猪子字大堰端 363 |
| | | 米沢事業所 | 〒992-0045 | 米沢市中央 3-1-17 |
| | | 天童事業所 | 〒994-0026 | 天童市東本町 2-7-2 |
| 福島 | | 福島支社 | 〒963-8861 | 郡山市鶴見垣 2-18-5 |
| | | 白河事業所 | 〒961-8055 | 西白河郡西郷村字道南西 36 |
| | | 福島事業所 | 〒960-8055 | 福島市野田町字道端 70 |
| | | いわき事業所 | 〒970-8034 | いわき市平上荒川字桜町 32-7 |
| | | 会津事業所 | 〒965-0006 | 会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合 134-5 |
| | | 埼玉 | 埼玉支社 | 〒331-0812 |
| | 浦和事業所 | | 〒336-0022 | さいたま市南区白幡4-29-8 |
| | 川越事業所 | | 〒350-0824 | 川越市石原町 2-61-1 |
| | 熊谷事業所 | | 〒360-0012 | 熊谷市上之 754-6 |
| | 川口事業所 | | 〒332-0012 | 川口市本町 4-1-8 |
| 所沢事業所 | 〒359-1111 | | 所沢市緑町3-9-14 | |
| 鴻巣事業所 | 〒365-0039 | | 鴻巣市東 1-113 | |
| 越谷事業所 | 〒343-0023 | | 越谷市東越谷 3-2-6 | |
| 寄居事業所 | 〒369-1202 | | 大里郡寄居町桜沢 202-1 | |
| 茨城 | 茨城支社 | | 〒310-0836 | 水戸市元吉田町 1074-1 |
| | 水戸事業所 | 〒310-0836 | 水戸市元吉田町 1074-1 | |

| | | | |
|------------|-----------|-------------------------|--------------------|
| 茨城 | 日立事業所 | 〒317-0064 | 日立市神峰町 1-9-5 |
| | つくば事業所 | 〒305-0821 | つくば市春日 2-26-3 |
| | ひたちなか事業所 | 〒312-0062 | ひたちなか市高場庚塚1621-27 |
| | 鹿嶋事業所 | 〒314-0031 | 鹿嶋市宮中 2-6-26 |
| 栃木 | 栃木支社 | 〒321-0911 | 宇都宮市間屋町 3172-10 |
| | 那須事業所 | 〒329-2745 | 那須塩原市三区町 612-1 |
| | 小山事業所 | 〒323-0062 | 小山市大字立木 1424-1 |
| | 佐野事業所 | 〒327-0003 | 佐野市大橋町 3215-1 |
| | 真岡事業所 | 〒321-4364 | 真岡市長田 1-2-9 |
| | 群馬 | 群馬支社 | 〒371-0846 |
| 渋川事業所 | | 〒377-0027 | 渋川市金井字田中 759-1 |
| 高崎事業所 | | 〒370-0802 | 高崎市並榎町 89-4 |
| 伊勢崎事業所 | | 〒372-0022 | 伊勢崎市日乃出町 68 |
| 太田事業所 | | 〒373-0821 | 太田市下浜田町 474-72 |
| 新潟 | | 新潟支社 | 〒950-0885 |
| | 長岡事業所 | 〒940-0877 | 長岡市稲保 4-750-14 |
| | 上越事業所 | 〒943-0803 | 上越市春日野 1-2-8 |
| 長野 | 長野支社 | 〒381-0023 | 長野市風間 2034-5 |
| | 上田事業所 | 〒386-0151 | 上田市芳田 516-2 |
| | 松本事業所 | 〒399-0033 | 松本市笹賀 5652-76 |
| | 諏訪事業所 | 〒392-0017 | 諏訪市城南 1-2666-4 |
| | 伊那事業所 | 〒396-0026 | 伊那市西町 5148-3 |
| 山梨 | 飯田事業所 | 〒395-0152 | 飯田市育良町 2-15-2 |
| | 山梨支社 | 〒409-3845 | 中央市山之神流通団地東 1 |
| | 甲府事業所 | 〒400-0857 | 甲府市幸町 23-10 |
| 東京 | 富士吉田事業所 | 〒403-0016 | 富士吉田市松山 5-11-3 |
| | 東京支社 | 〒103-0016 | 中央区日本橋小網町 19-5 |
| | 浜離宮事業所 | 〒104-0045 | 中央区築地 5-6-10 |
| | 新宿事業所 | 〒163-1190 | 新宿区西新宿 6-22-1 |
| | 上野事業所 | 〒111-0036 | 台東区松が谷 1-3-5 |
| | 亀戸事業所 | 〒136-0071 | 江東区亀戸1-42-20 |
| | 大井事業所 | 〒140-0014 | 品川区大井 1-20-6 |
| | 渋谷事業所 | 〒153-0044 | 目黒区大橋 1-6-2 |
| | 杉並事業所 | 〒166-0011 | 杉並区梅里 1-7-7 |
| | 豊島事業所 | 〒170-0005 | 豊島区南大塚 3-32-1 |
| 神奈川 | 西東京支社 | 〒190-0012 | 立川市曙町 2-22-20 |
| | 八王子事業所 | 〒192-0046 | 八王子市明神町 3-20-6 |
| | 西多摩事業所 | 〒205-0001 | 羽村市小作台 4-3-1 |
| | 府中事業所 | 〒183-0044 | 府中市日鋼町 1-1 |
| | 武蔵野事業所 | 〒180-0006 | 武蔵野市中町 1-19-18 |
| | 神奈川支社 | 〒220-0012 | 横浜市西区みなとみらい 4-6-2 |
| | 港北事業所 | 〒224-0015 | 横浜市都筑区牛久保西 1-24-35 |
| | 戸塚事業所 | 〒244-0805 | 横浜市戸塚区川上町 87-1 |
| | 川崎事業所 | 〒212-0013 | 川崎市幸区堀川町 580-16 |
| | 相模原事業所 | 〒252-0234 | 相模原市中央区共和 4-22-1 |
| 千葉 | 横須賀事業所 | 〒239-0807 | 横須賀市根岸町 5-20-16 |
| | 平塚事業所 | 〒254-0034 | 平塚市宝町 9-14 |
| | 藤沢事業所 | 〒252-0804 | 藤沢市湘南台 1-7-4 |
| | 厚木事業所 | 〒243-0018 | 厚木市中町 3-11-18 |
| | 大和事業所 | 〒242-0018 | 大和市深見西 3-1-3 |
| | 千葉支社 | 〒261-7118 | 千葉市美浜区中瀬 2-6-1 |
| | 千葉事業所 | 〒260-8555 | 千葉市中央区新町 24-9 |
| | 館山事業所 | 〒294-0054 | 館山市湊 38-2 |
| | 茂原事業所 | 〒297-0026 | 茂原市茂原 643 |
| | 船橋事業所 | 〒273-0033 | 船橋市本郷町 538 |
| 柏事業所 | 〒277-8519 | 柏市若柴178-4柏の葉キャンパス148街区2 | |



| | | | | | | | |
|------------|---|---|---|------------|---|--|--|
| 千葉 | 市原事業所 成田事業所 東総事業所 木更津事業所 | 〒290-0055 〒286-0202 〒289-2148 〒292-0057 | 市原市五井東 1-19-1 富里市日吉倉 12-1 匝瑳市飯倉台 3-21-6 木更津市東中央 2-4-14 | 愛媛 | 愛媛支社 松山南事業所 南予事業所 新居浜事業所 今治事業所 | 〒790-0063 〒790-0056 〒797-0014 〒792-0811 〒794-0033 | 松山市辻町 15-33 松山市土居田町 182-1 西予市宇和町伊賀上 1645-14 新居浜市庄内町 1-9-4 今治市東門町 1-7-9 |
| 静岡 | 静岡支社 沼津事業所 藤枝事業所 浜松事業所 掛川事業所 | 〒422-8078 〒410-0004 〒426-0061 〒432-8041 〒436-0027 | 静岡市駿河区さつき町 5-37 沼津市本田町 2-3 藤枝市田沼 2-18-7 浜松市中区菅原町 11-9 掛川市久保 1-4-11 | 高知 | 高知支社 四万十事業所 | 〒780-0088 〒787-0051 | 高知市北久保 12-3 四万十市具岡田黒 1-12-38 |
| 愛知 | 愛知支社 名北事業所 名南事業所 名西事業所 名古屋今池事業所 尾張事業所 知多事業所 三河事業所 豊田事業所 岡崎事業所 豊橋事業所 | 〒451-6010 〒462-0038 〒468-0045 〒454-0868 〒464-0075 〒482-0005 〒475-0925 〒446-0059 〒471-0034 〒444-0007 〒441-8028 | 名古屋市西区牛島町 6-1 名古屋市北区稚児宮通 1-30 名古屋市天白区野並 3-581 名古屋市中区草平町 1-72 名古屋市千種区内山 2-14-29 岩倉市下本町字城址 25-1 半田市宮本町 3-217-21 安城市三河安城本町 1-23-1 豊田市小坂本町 3-3-1 岡崎市大平町八ッ幡 18-1 豊橋市立花町 29-5 | 広島 | 広島支社 呉事業所 福山事業所 | 〒730-0013 〒737-0046 〒721-0955 | 広島市中区八丁堀 3-33 呉市中通 2-1-26 福山市新涯町 5-3-27 |
| 三重 | 三重支社 津事業所 桑名事業所 伊賀事業所 | 〒510-0064 〒514-1113 〒511-0069 〒518-0002 | 四日市市新正 1-12-15 津市久居野村町 420-2 桑名市新矢田 2-10 伊賀市千歳 282-1 | 岡山 | 岡山支社 津山事業所 倉敷事業所 | 〒700-0973 〒708-0824 〒712-8044 | 岡山市北区下中野 236-6 津山市沼 7-7 倉敷市東塚 1-1-35 |
| 岐阜 | 岐阜支社 大垣事業所 多治見事業所 恵那事業所 高山事業所 | 〒500-8247 〒503-0816 〒507-0039 〒509-7201 〒506-0035 | 岐阜市長森細畑 427 大垣市小泉町二番割 179-1 多治見市十九田町 2-4-1 恵那市大井町 2087-358 高山市新宮町 3770-5 | 山口 | 山口支社 周南事業所 下関事業所 萩事業所 | 〒754-0028 〒744-0027 〒750-0016 〒758-0011 | 山口市小郡給領町 1-20 下関市南花園 1-3-12 下関市細江町 2-2-1 萩市大字椿東 2928-1 |
| 富山 | 富山支社 高岡事業所 | 〒939-8072 〒933-0874 | 富山市堀川町 313 高岡市京田 499 | 鳥取 | 鳥取支社 倉吉事業所 米子事業所 | 〒680-0942 〒682-0017 〒683-0006 | 鳥取市湖山町東 5-374-7 倉吉市清谷町 2-5-3 米子市車尾 2-5-22 |
| 石川 | 石川支社 能登事業所 | 〒920-0031 〒926-0031 | 金沢市広岡 1-13-22 七尾市古府町ち 3番 102号 | 島根 | 島根支社 出雲事業所 浜田事業所 益田事業所 | 〒690-0038 〒693-0021 〒697-0006 〒698-0007 | 松江市平成町 182-27 出雲市塩治町 1149-4 浜田市下府町 471-2 益田市昭和町 23-20 |
| 福井 | 福井支社 敦賀事業所 小浜事業所 | 〒910-0854 〒914-0811 〒917-0241 | 福井市御幸 3-7-15 敦賀市中央町 1-3-3 小浜市遠敷 1-1303-2 | 福岡 | 福岡支社 福岡西事業所 福岡南事業所 福岡北事業所 小倉事業所 八幡事業所 苅田事業所 筑豊事業所 有明事業所 久留米事業所 | 〒810-0004 〒819-0025 〒816-0955 〒811-3209 〒802-0003 〒806-0064 〒800-0353 〒820-0067 〒837-0904 〒830-0003 | 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 福岡市西区石丸 2-38-29 大野城市上大利 5-1-6 福津市日蔭野 1-1-1 北九州市小倉北区米町 2-2-1 北九州市八幡西区割子川 2-13-20 京都市苅田町大字尾倉 3431-12 飯塚市大字川津 267-2 大牟田市大字吉野 2137 久留米市東櫛原町 1107-1 |
| 滋賀 | 滋賀支社 大津事業所 彦根事業所 近江八幡事業所 水口事業所 | 〒520-3015 〒520-0047 〒522-0082 〒523-0891 〒528-0049 | 栗東市安養寺 7-2-22 大津市浜大津 1-1-3 彦根市安清町 5-15 近江八幡市鷹飼町 562 甲賀市水口町貴生川 1-52-2 | 佐賀 | 佐賀支社 鳥栖事業所 唐津事業所 武雄事業所 伊万里事業所 | 〒849-0912 〒841-0072 〒847-0831 〒843-0023 〒848-0027 | 佐賀市兵庫町瓦町四本松 1082 鳥栖市村田町字五本松 496-1 唐津市千々賀八反田 11-4 武雄市武雄町大字昭和 800 伊万里市立花町 2294-8 |
| 京都 | 京都支社 京都南事業所 京都西事業所 福知山事業所 | 〒600-8418 〒612-8425 〒615-8221 〒620-0940 | 京都市下京区烏丸通松原下ル 五条烏丸町 401 京都市伏見区竹田中殿町 77 京都市西京区上桂東ノ口町108 福知山市駅南町 2-78 | 長崎 | 長崎支社 佐世保事業所 長崎県央事業所 五島事業所 対馬事業所 壱岐事業所 | 〒852-8131 〒857-1162 〒859-0401 〒853-0033 〒817-0001 〒811-5132 | 長崎市文教町 11-5 佐世保市卸本町 1-164 諫早市多良見町化屋 1873 五島市木場町 244-9 対馬市厳原町小浦 205-1 壱岐市郷ノ浦町東触 689-2 |
| 大阪 | 大阪支社 谷町事業所 平野事業所 茨木事業所 江坂事業所 枚方事業所 東大阪事業所 南大阪事業所 | 〒540-0029 〒540-0012 〒547-0034 〒567-0824 〒564-0053 〒573-0023 〒578-0911 〒593-8325 | 大阪市中央区本町橋 1-5 大阪市中央区谷町 4-11-6 大阪市平野区背戸口 1-21-28 茨木市中津町 19-33 吹田市江の木町 34-5 枚方市東田宮 1-14-16 東大阪市中新開 2-11-21 堺市西区鳳南町 3-215 | 熊本 | 熊本支社 熊本西事業所 八代事業所 山鹿事業所 | 〒861-8501 〒860-0834 〒866-0815 〒861-0535 | 熊本市東区下南部 3-10-32 熊本市南区江越 2-4-7 八代市長田町 3293-1 山鹿市南島 1239 |
| 兵庫 | 兵庫支社 明石事業所 西宮事業所 三田事業所 姫路事業所 加西事業所 龍野事業所 豊岡事業所 | 〒651-0084 〒673-0898 〒662-0927 〒669-1512 〒670-0964 〒675-2311 〒679-4129 〒668-0027 | 神戸市中央区磯辺通 1-1-39 明石市樽屋町 8-32 西宮市久保町 7-28 三田市高次 1-12-10 姫路市豊沢町 101 加西市北条町横尾 1042 たつの市龍野町堂本 54-1 豊岡市若松町 4-14 | 大分 | 大分支社 別府事業所 大分県南事業所 大分北事業所 杵築出張所 | 〒870-0921 〒874-0919 〒875-0233 〒879-0471 〒873-0002 | 大分市萩原 4-8-7 別府市石垣東 10-1-10 臼杵市野津町大字宮原 3785 宇佐市大字四日市荒巻 61-8 杵築市南杵築平良石 1731-9 |
| 奈良 | 奈良支社 橿原事業所 | 〒630-8013 〒634-0063 | 奈良市三条大路 1-10-28 橿原市久米町 599-1 | 宮崎 | 宮崎支社 延岡事業所 日向事業所 都城事業所 | 〒880-0036 〒882-0874 〒883-0014 〒885-0021 | 宮崎市花ヶ島町大原 2361-1 延岡市伊達町 3-68-1 日向市原町 2-47 都城市平江町 45-2-2 |
| 和歌山 | 和歌山支社 橋本事業所 田辺事業所 紀南事業所 | 〒640-8341 〒649-7205 〒646-0026 〒647-0016 | 和歌山市黒田 39-2 橋本市高野口町名倉 1070 田辺市宝来町 10-11 新宮市谷王子町 456-1 | 鹿児島 | 鹿児島支社 鹿児島南事業所 川内事業所 鹿屋事業所 霧島事業所 出水事業所 大島事業所 | 〒892-0833 〒891-0115 〒895-0005 〒893-0004 〒899-5121 〒899-0212 〒894-0036 | 鹿児島市松原町 7-6 鹿児島市東開町 3-155 薩摩川内市永利町字金下 665-4 鹿屋市朝日町 10-6 霧島市隼人町神宮 5-3-24 出水市上知識町 77 奄美市名瀬長浜町 28-2 |
| 徳島 | 徳島支社 阿波事業所 | 〒770-0871 〒771-1624 | 徳島市金沢 2-3-60 阿波市市場町山野上大西 210-1 | 沖縄 | 沖縄支社 沖縄中部事業所 沖縄北部事業所 八重山事業所 久米島事業所 | 〒902-0064 〒904-2151 〒905-0011 〒907-0004 〒901-3124 | 那覇市寄宮 1-3-37 沖縄市字松本 855 名護市字宮里 453-6 石垣市字登野城 29 島尻郡久米島町字仲泊 616 |
| 香川 | 香川支社 瀬戸大橋事業所 | 〒761-8054 〒769-0227 | 高松市東八ヶ町 9-7 綾歌郡宇多津町岩屋 3537-1 | | | | |

※2015年6月現在の営業拠点のある事業所です



リコージャパン株式会社
CSR 報告書
2015

この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは、下記で承っています。

リコージャパン株式会社 経営企画本部 ビジネスマネジメントセンター CSR推進部
〒105-8503 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル TEL.050-3534-0713
E-mail : rjg_csr@ricoh-japan.co.jp

<http://www.ricoh.co.jp/sales/about/>

2015年6月発行



本報告書は、リコーが提供する新しいクラウドサービスである「Clickable Paper サービス」に対応しています。

スマートフォン、タブレット端末用アプリケーション「RICOH CP Clicker (無料)」をインストールし、本誌誌面に配置されているアイコン (左図) の誌面を撮影 (クリック) すると、誌面にリンクされたインターネット上のサイトをご覧ください。

<http://www.ricoh.co.jp/software/other/clickablepaper/>